

## 2024年8月新聞書評に掲載された本



### 檀流・島暮らし

檀太郎 著  
中央公論新社

66歳の春、東京の家が区画整理の対象になり、博多湾のど真ん中に位置する離島能古島に移住した。米・肉以外はほぼ自給、田舎暮らしの知恵が満載の、島での第二の人生を綴る。『産経新聞』九州・山口版連載を書籍化。

産経新聞 2024/08/04

2024:7./ 339p  
978-4-12-005803-5

¥1,980〔税込〕



9 784120 058035



### マリリン・トールド・ミー

山内 マリコ 著  
河出書房新社

コロナ禍で家から出られない一人暮らしの大学生・瀬戸杏奈。ある晩、彼女に伝説のハリウッドスターから電話がかかってきて-!? 2人の女性の孤独が時を超えて交錯する、運命突破系青春小説。『文藝』掲載に加筆・修正。

産経新聞 2024/08/04

2024:5./ 237p  
978-4-309-03185-9

¥1,870〔税込〕



9 784309 031859



### 私の実家が売れません!〜仲介にも見放された地獄の再建築不可物件を素人が自分で売ってきた〜

高殿 円 著  
エクスナレッジ

郊外築75年、大量のガラクタ、恐怖の再建築不可物件...残された実家は超問題だらけ! 長年放置され荒れまくっていたボロ戸建てを業者を入れずに買い手をつけ、手売りしたレポート。実家じまいチェックリスト付き。

産経新聞 2024/08/04

2024:7./ 190p  
978-4-7678-3298-2

¥1,760〔税込〕



9 784767 832982

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2024年8月時点での税込み価格です。



### ためらいと決断の哲学～ゆらぎゆく因果と倫理～

一ノ瀬正樹 著  
青土社

不確実な現実を前にして私たちはためらうべきである。しかしためらいながらも、決断することはできる。間違ふ可能性と責任を負う覚悟をもって-。因果論や倫理学説の検討をもとに、新しいリーダーシップ論への展望を記す。

産経新聞 2024/08/04

2024:7./ 311p,11p  
978-4-7917-7649-8

¥2,970〔税込〕



### 海岸通り

坂崎 かおる 著  
文藝春秋

海辺の老人ホームで派遣の清掃員として働くわたし、クズミは、ウガンダ出身のマリアさんと親しくなる。さまざまな人物が、正しさとまちがい、本物とニセモノの境をこえて踊る、静かな物語。『文學界』掲載を単行本化。

産経新聞 2024/08/04、朝日新聞 2024/08/24

2024:7./ 124p  
978-4-16-391881-5

¥1,540〔税込〕



### なんで死体がスタジオに!?

森 バジル 著  
文藝春秋

「次がダメなら制作を外す」と宣告されているバラエティプロデューサー・幸良涙花が進退をかけて挑む番組は、その名も「ゴシップ人狼」。奮闘する幸良が本番前に出会ったのは、「大御所俳優・勇崎恭吾の死体」だった!

産経新聞 2024/08/04、読売新聞 2024/08/18

2024:6./ 251p  
978-4-16-391863-1

¥1,760〔税込〕



### 撮るあなたを撮るわたしを～自撮りとスクショの写真論～

大山 顕 著  
講談社

誰もがカメラを持ち、写真にコストがかからなくなり、呼吸をするように撮影が行われる。写真は「画像」となり、日常を記憶するための「会話(コミュニケーション)」になった。スマホと SNS 時代の新たな写真論。

産経新聞 2024/08/11

2024:7./ 247p  
978-4-06-533349-5

¥1,650〔税込〕



### 転の声

尾崎 世界観 著  
文藝春秋

ロックバンドのフロントマン・以内右手は、長引く喉の不調が招く不安に追い詰められ、カリスマ“転売ヤー”に縋りついてしまう。高額取引の痕跡を確認するたびに後ろめたい喜びが湧き上がり…。『文學界』掲載を単行本化。

産経新聞 2024/08/11

2024:7./ 162p  
978-4-16-391882-2

¥1,650〔税込〕





### 五本指のけだもの～W・F・ハーヴィー怪奇小説集～

ウィリアム・フライアー・ハーヴィー 著

国書刊行会

英国怪奇アンソロジーの定番作家による、本邦初の短篇集。鬼気迫る幽霊談、暗合と運命の交錯する奇譚から、精神の暗部を扶る不気味な物語まで、ときにブラック・ユーモアを漂わせて絶妙な雰囲気醸し出す全9篇を収録する。

2024:7./ 248p  
978-4-336-07420-1

¥2,970〔税込〕



産経新聞 2024/08/11



### 呪術の世界(別冊太陽 日本のこころ 318)

平凡社

日本史の底流で脈々と受け継がれ育まれてきた呪術。時には表舞台で政治も動かす呪術の歴史を、古代から現代まで写真とともにたどる。日本史に秘められた10大呪詛事件、諸星大二郎の描き下ろし漫画なども収録する。

2024:7./ 143p  
978-4-582-92318-6

¥2,750〔税込〕



産経新聞 2024/08/11



### 途中の話

和田まさ子 著

思潮社

芥川龍之介は「廊下はけふも不相変牢獄のやうに憂鬱だつた」といった そんな廊下に引きこまれて生きたひとは 改行なしの一筆で この世の廊下を急ぎ足で行ってしまった(「廊下について」より) 詩集。

2024:6./ 101p  
978-4-7837-4574-7

¥2,530〔税込〕



産経新聞 2024/08/11



### 予防医学の名医が教えるすごい野菜の話～野菜で病気を防ぐ!100歳まで生きる!～

一石英一郎 著

飛鳥新社

野菜を食べれば免疫力が高まる! 人類が野菜を食べるべき理由を人類学や遺伝子学の観点から述べるとともに、肉食と菜食を栄養学的見地から検証し、理想的な食の在り方を考察。野菜のおいしい食べ方も、具体例を挙げ紹介する。

2024:6./ 254p  
978-4-86410-971-0

¥1,540〔税込〕



産経新聞 2024/08/11



### そんな言葉があることを忘れていた

せきしろ 著

左右社

五月雨の向こうに辞めたバイト先が見える まるで季節を運んできたかのような顔をしている 首にタトゥーが見えてもサンタ 少し組み立ててから説明書を見始める 自由律俳句集。

2024:8./ 245p  
978-4-86528-425-6

¥2,530〔税込〕



産経新聞 2024/08/11



### 不死の亡命者～野性的な知の群像～

劉 燕子 著  
集広舎

「六四」天安門事件を契機に亡命した 10 名の知識人がライフ・ヒストリーと中国現代史の交差において「真の力」を獲得し、複合的な諸困難をも乗り越えるダイナミクスを論考。ポストコロナリズムによる国内亡命にも迫る。

産経新聞 2024/08/11、朝日新聞 2024/08/17

2024:5./ 710p,40p  
978-4-86735-053-9

¥6,820〔税込〕



### バリ山行

松永 K 三蔵 著  
講談社

会社の付き合いを避けてきたが、登山部で親睦を図る気楽な活動をするようになった波多。職場で孤立するベテラン妻鹿が、あえてルートから外れる危険で難易度の高い「バリ山行」をしていると知り…。『群像』掲載を単行本化。

産経新聞 2024/08/18

2024:7./ 161p  
978-4-06-536960-9

¥1,760〔税込〕



### 越境

砂川 文次 著  
文藝春秋

ロシア軍の侵攻から 10 年。北海道東北部は、反乱軍と化したロシア軍や指揮を逸脱した自衛隊の部隊、民兵などが群雄割拠している。無法地帯を奥へと進んだ陸自のイリキの前に…。『文學界』連載を書籍化。

産経新聞 2024/08/18

2024:7./ 483p  
978-4-16-391876-1

¥2,310〔税込〕



### 呪詛を受信しました(宝島社文庫 このミス大賞 C う-15-1)

上田 春雨 著  
宝島社

北海道のある町で暮らす女子高生の湊。継母と陰悪な関係である彼女は、早く自立するためにパパ活をしている。ある日、湊の友人・飛鳥のスマートフォンに、事故死した中学時代の友人・美保から「死ね」とメッセージが届き…。

産経新聞 2024/08/18

2024:7./ 319p  
978-4-299-05669-6

¥799〔税込〕



### 老いの贅沢

曾野 綾子 著  
河出書房新社

人生の無駄を捨て、自分にとって一番大切な部分に時間をかける。会いたい人に会い、食べたいものを食べる…。日常の悩みに応え、前向きで豊かな老後の楽しみ方を伝えるメッセージ集。

産経新聞 2024/08/18

2024:5./ 177p  
978-4-309-03183-5

¥1,320〔税込〕





### 後につづくを信ず～特攻隊と日本人～

岩田温 著  
かや書房

後につづくを信ず-。特攻隊の人たちが遺したこの言葉をどう解釈するか。歴史とは国家とは何かを論じたうえで、祖国日本のために殉死した特攻隊の人たちを記憶することの重要性を説く。講演を基に大幅に加筆・訂正し書籍化。

産経新聞 2024/08/18

2024:7./ 254p  
978-4-910364-49-0

¥1,980〔税込〕



### 武田の金、毛利の銀

垣根 涼介 著  
KADOKAWA

織田信長の密命を帯びた明智光秀は、武田・毛利両家の資金源を探る。流通、換金、供給率、持続性-。金銀を活かすために必要なものとは？ 歴史冒険活劇。『小説野性時代』掲載を加筆・修正し単行本化。

産経新聞 2024/08/25

2024:7./ 324p  
978-4-04-111249-6

¥1,980〔税込〕



### 雷龍楼の殺人

新名 智 著  
KADOKAWA

富山県沖合の島にある外狩家の屋敷「雷龍楼」で、密室で4人が命を落とす変死事件が起こった。2年後、事件で両親を失った中学生の外狩霞が誘拐される。彼女を解放する条件として、いとこの穂継が雷龍楼に向かうが...

産経新聞 2024/08/25

2024:8./ 282p  
978-4-04-115210-2

¥1,870〔税込〕



### がん征服

下山 進 著  
新潮社

あらゆるがんの中でもっとも難しいがんは、脳腫瘍のグレード4「膠芽腫」で、平均余命は15カ月。手術や抗がん剤、放射線では治せない、「最凶のがん」に3つの最新治療法が挑む、医療ノンフィクション。

産経新聞 2024/08/25

2024:6./ 261p  
978-4-10-355711-1

¥1,980〔税込〕



### 天使の跳躍

七月 隆文 著  
文藝春秋

46歳の「悲運の棋士」田中一義は、念願のタイトル挑戦権を手に入れた。迎え撃つ相手「令和の王」源大河八冠は、全盛期の若き天才。その戦いは、中年棋士のラストチャンスで...。峻烈な才能の世界と家族愛を描いた人間ドラマ。

産経新聞 2024/08/25

2024:8./ 452p  
978-4-16-391883-9

¥2,090〔税込〕





### 「お帰り」と言うために〜拉致被害者・特定失踪者家族の声〜

特定失踪者問題調査会 編  
草思社

かけがえのない家族を奪われて数十年。なぜ、日本はこれほどの問題を解決できずにいるのか? 2023年10月開催の「「お帰り」と言うために 拉致被害者・特定失踪者家族の集い」での訴えなどをもとに書籍化。

産経新聞 2024/08/25

2024:8./ 207p  
978-4-7942-2732-4

¥1,870〔税込〕



### 日本酒呑んで旅ゆけば

山内聖子 著  
イースト・プレス

日本酒にいろんな味わいがあるのはなぜだろう? 呑む文筆家・山内聖子が、名酒のふるさとをめぐり、その味の秘密に迫る「呑浪記」。蔵元と行った酒場、蔵元おすすめ立ち寄り処、旅のほろ酔いポエムも収録。

産経新聞 2024/08/25、読売新聞 2024/08/25

2024:7./ 317p  
978-4-7816-2336-8

¥1,870〔税込〕



### 古墳と埴輪(岩波新書 新赤版 2020)

和田 晴吾 著  
岩波書店

3~6世紀、人びとはなぜ、憑かれたように古墳を造ったのか。中国、朝鮮半島の葬制からの影響も視野に入れつつ、古墳の宗教的、社会的役割を考察。古墳と埴輪の本質と古代人の他界観に迫る。

朝日新聞 2024/08/03

2024:6./ 302p  
978-4-00-432020-3

¥1,342〔税込〕



### お登勢 改版(角川文庫)

船山 馨 著  
角川書店  
朝日新聞 2024/08/03

2001:5./ 700p



### 徳島の盆踊り〜モラエスの日本随想記〜(講談社学術文庫)

W.DE・モラエス 著  
講談社  
朝日新聞 2024/08/03

1998:1./ 290p



### 鳴門秘帖<1>(吉川英治歴史時代文庫)

吉川 英治 著  
講談社

昭和初年大衆文学の興隆期に発表され、人気沸騰した名作『鳴門秘帖』は争って読まれ、虚無僧姿の法月弦之丞は銀幕のヒーローに。

朝日新聞 2024/08/03

1989:9./ 429p  
978-4-06-196502-7

¥814〔税込〕





### 美少女戦士セーラームーンレゾネ ART WORKS1991〜2023

武内 直子 著  
講談社

「美少女戦士セーラームーン」集大成のイラスト集。『なかよし』連載時のカラーイラストや、連載後に描かれたデジタル彩色イラスト、TV アニメーション設定原画など、745点を収録する。

朝日新聞 2024/08/03

2024:4./ 199p  
978-4-06-530909-4

¥3,979〔税込〕



9 784065309094



### 場所(新潮文庫)

瀬戸内 寂聴 著  
新潮社

朝日新聞 2024/08/03

2004:7./ 341p  
978-4-10-114436-8

¥693〔税込〕



9 784101144368



### パリの本屋さん

鹿島茂 著  
中央公論新社

カフェも美術館も本屋さんも、覗けばその街の歴史と文化が見えてくる! 博覧強記の著者が30年近くにわたって書き、語ってきたパリにまつわる文章を厳選収録。知的刺激に満ちた“読む”パリ・ツアー。

朝日新聞 2024/08/03

2024:6./ 350p  
978-4-12-005799-1

¥3,520〔税込〕



9 784120057991



### あらゆることは今起こる(シリーズケアをひらく)

柴崎 友香 著  
医学書院

私の体の中には複数の時間が流れている。ある場所の過去と今。誰かの記憶と経験。出来事をめぐる複数からの視点。ADHDの診断を通じて、自分の内側で起こったことを綴る。テキストデータ引換券付き。

朝日新聞 2024/08/03

2024:5./ 291p  
978-4-260-05694-6

¥2,200〔税込〕



9 784260056946



### ツミデミック

一穂ミチ 著  
光文社

大学を中退し、夜の街で客引きのバイトをしている優斗。ある日、中学時代に死んだはずの同級生の名を名乗る女が現れ…。「違う羽の鳥」「憐光」など、全6編を収録。鮮烈なる“犯罪”小説集。『小説宝石』掲載を単行本化。

朝日新聞 2024/08/03

2023:11./ 270p  
978-4-334-10139-8

¥1,870〔税込〕



9 784334101398

## 眉山

さだ まさし 著

幻冬舎

咲子は、末期癌の母を看取ろうと決心した矢先、母が自分に言わずに「献体」を申し込んでいたことを知る。それはなぜなのか?やがて咲子は、まだ会ったことのない父のことで、母の想いを知っていく。

朝日新聞 2024/08/03

2004:12./ 200p



9 7 8 4 3 4 4 0 0 7 2 7 7

## 経済学の思考軸～効率か公平かのジレンマ～(ちくま新書 1791)

小塩 隆士 著

筑摩書房

拡大する格差を何とかするには。全世代型社会保障は可能か。なぜ医療保険は強制加入なのか。難題の数々に、経済学の“ものの考え方”を駆使して、効率と公平という2本の評価軸をもとに、「経世済民」を突き詰める。

朝日新聞 2024/08/03

2024:5./ 247p

978-4-480-07618-2

¥990 [税込]



9 7 8 4 4 8 0 0 7 6 1 8 2

## アッシリア人類最古の帝国(ちくま新書 1800)

山田 重郎 著

筑摩書房

人類史上最古の帝国、アッシリアはいかにして生まれ、なぜ歴史の表舞台から姿を消したのか。起源である都市国家アッシュルの誕生から帝国として花開くまでの1500年の歴史をたどり、謎に満ちた滅亡の背景に迫る。

朝日新聞 2024/08/03

2024:6./ 348p

978-4-480-07620-5

¥1,210 [税込]



9 7 8 4 4 8 0 0 7 6 2 0 5

## 左利きの歴史～ヨーロッパ世界における迫害と称賛～

ピエール=ミシェル・ベルトラン 著

白水社

左利きの人々は世間にどのように認識され、どのように扱われてきたのか。中世からのテーブルマナーの変化や絵画の分析、「右手の優越」を通して見る西洋近代の思考様式など、さまざまな角度からその複雑な歴史をたどる。

朝日新聞 2024/08/03

2024:7./ 328p

978-4-560-09299-6

¥3,960 [税込]



9 7 8 4 5 6 0 0 9 2 9 9 6

## 死線を越えて 復刻版

賀川 豊彦 著

PHP研究所

大正時代、神戸のスラム街で貧しい人達とともに過ごし、社会改革運動のさきがけとなった賀川豊彦。彼が自身の経験をもとに綴った大作であり、スラム街における愛と献身の物語を復刻再刊。

朝日新聞 2024/08/03

2009:4./ 463p



9 7 8 4 5 6 9 7 0 8 0 1 0



**パレスチナ/イスラエルの<いま>を知るための24章(エリア・スタディーズ206別冊)**

鈴木 啓之/児玉 恵美 著

明石書店

ガザの原風景、暮らし、NGOと人道支援、離散パレスチナ人、イスラエルの過剰防衛、日本とパレスチナ…。人道支援、研究、外交に携わる34人の執筆者が、パレスチナとイスラエルの<いま>から、過去と未来を読み解く。

朝日新聞 2024/08/03

2024:5./ 310p  
978-4-7503-5760-7

¥2,200〔税込〕



**まだら模様の日々**

岩瀬 成子 著

かもがわ出版

親と子の葛藤と繋がりについて、子どもの目線で描いたエッセイと、ちょっとへんてこりんな愛すべき人たちが登場する連作短編を掲載。生まれ育った岩国の街を歩いて撮った写真も収録する。

朝日新聞 2024/08/03

2024:4./ 207p  
978-4-7803-1321-5

¥1,980〔税込〕



**蟬法師～訳アリ坊主三人衆、嫁探しの珍道中～**

墨佳遠 著

イースト・プレス

稀代の人外絵師が、蟬の一生を独自の解釈で漫画にする。個人誌として発行し、即完売となった表題作に、尼蟬法師(雌)視点の物語と、ほかの昆虫類との交流を描く短編描き下ろしを加え書籍化。

朝日新聞 2024/08/03

2024:6./ 204p  
978-4-7816-2320-7

¥968〔税込〕



**佐橋くんのあやしき日和**

三ト二三 著

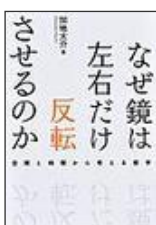
イースト・プレス

フツの小学生、火の鳥を飼う!?!まったりほのぼのx奇想天外摩訶不思議 独自の世界観を紡ぐ新鋭 デビュー単行本!

朝日新聞 2024/08/03

2024:6./ 190p  
978-4-7816-2321-4

¥935〔税込〕



**なぜ鏡は左右だけ反転させるのか～空間と時間から考える哲学～**

加地大介 著

教育評論社

なぜ鏡は左右だけ反転させるのか。なぜ私たちは過去へ行けないのか。時間と空間の身近な謎に、数学や物理学、回天座標や宿命論、デカルト、カント、テイラーなどあらゆる手段を駆使して、論理的な答えを追求する。

朝日新聞 2024/08/03

2024:5./ 218p,4p  
978-4-86624-100-5

¥2,200〔税込〕





### ケルト人の夢

マリオ・バルガス＝リョサ 著

岩波書店

20世紀初頭、コンゴとアマゾンの先住民に対する虐待、植民地主義の罪を告発したアイルランド人がいた。英雄であり、反逆者でもあった100年前の外交官を描きながら、評伝よりも大きなスケールで人間の不思議さに迫る。

朝日新聞 2024/08/10

2021:10./ 550p  
978-4-00-061474-0

¥3,960〔税込〕



### こちら、沖縄美ら海水族館動物健康管理室。～世界一の治療をチームで目指す～

岩貞 るみこ 著

講談社

人間と海の生き物がおりなす沖縄美ら海水族館で本当にあった7つのノンフィクションドラマ。イルカの人工尾びれ、マナティーの妊娠・出産・育仔など、健康管理室で働く職員と飼育員が一緒になって取り組んだ仕事を紹介する。

朝日新聞 2024/08/10

2024:6./ 221p  
978-4-06-535710-1

¥1,650〔税込〕



### サマーゴースト(集英社文庫 お46-13)

乙ー/loundraw 著

集英社

夏、使われなくなった飛行場で花火をすると“サマーゴースト”が現れるという。ネットを通じて知り合った高校生、友也・あおい・涼は、幽霊に聞きたいことがあって…。儚く、淡い、少し不思議な夏の青春長編。

朝日新聞 2024/08/10

2024:7./ 158p  
978-4-08-744671-5

¥550〔税込〕



### 消費される階級

酒井 順子 著

集英社

デジタル下層民、東大礼賛と低学歴信仰…。多様性が叫ばれる中、見えづらくなったが存在する、学歴、年齢、性別、外見、経済力などに対する日本人の階級意識をあぶり出す。『よみタイ』連載を書籍化。

朝日新聞 2024/08/10

2024:6./ 263p  
978-4-08-788116-5

¥1,870〔税込〕



### 夏を待つぼくらと、宇宙飛行士の白骨死体(ガガガ文庫 ガシ 9-1)

篠谷 巧 著

小学館

2023年7月、緊急事態宣言も明け日常を取り戻しつつあった僕ら幼馴染4人は、受験勉強が本格化する前の思い出づくりとして深夜の旧校舎に忍び込んだ。するとそこには、宇宙服を着た白骨死体が鎮座していて…。

朝日新聞 2024/08/10

2024:7./ 309p  
978-4-09-453198-5

¥836〔税込〕





運〜ドン・キホーテ創業者「最強の遺言」〜(文春新書 1458)

安田 隆夫 著  
文藝春秋

34期連続で増収増益を成し遂げ、売上2兆円のドン・キホーテ。創業者・安田隆夫の大成功の裏には「運」の存在があった。自らの運をコントロールし、人生を切り拓けるよう、生涯をかけて学んだ「勝利の法則」を伝授する。

朝日新聞 2024/08/10

2024:6./ 255p  
978-4-16-661458-5

¥792 [税込]



核は暴走する〜アメリカ核開発と安全性をめぐる闘い〜<上>

エリック・シュローサー、布施 由紀子 著  
河出書房新社

冷戦期に日常的なミスにより起きた、大陸間弾道ミサイル「タイタンII」発射施設の事故。アメリカの核兵器にまつわる事故の実例を明らかにし、核のリスクを生々しく描くとともに、アメリカの核兵器の歴史を丹念に振り返る。

朝日新聞 2024/08/10

2018:7./ 356p  
978-4-309-25385-5

¥4,290 [税込]



核は暴走する〜アメリカ核開発と安全性をめぐる闘い〜<下>

エリック・シュローサー、布施 由紀子 著  
河出書房新社

冷戦期に日常的なミスにより起きた、大陸間弾道ミサイル「タイタンII」発射施設の事故。アメリカの核兵器にまつわる事故の実例を明らかにし、核のリスクを生々しく描くとともに、アメリカの核兵器の歴史を丹念に振り返る。

朝日新聞 2024/08/10

2018:7./ 362p  
978-4-309-25386-2

¥4,290 [税込]



砂嵐に星屑(幻冬舎文庫 い-75-1)

一穂ミチ 著  
幻冬舎

舞台は大阪のテレビ局。腫れ物扱いの独身女性アナ、ぬるく絶望している非正規AD。一見華やかな世界の裏側で、それぞれの世代に悩みがあり…。ままならない日々を包み込み、前を向く勇気をくれる連作短編集。

朝日新聞 2024/08/10

2024:7./ 324p  
978-4-344-43395-3

¥825 [税込]



動物のひみつ〜ウォード博士の驚異の「動物行動学入門」〜

アシュリー・ウォード 著  
ダイヤモンド社

生き物たちは驚くほど人間に似ている! ずぶ濡れの仲間を助けるネズミ、家族の死を悼むゾウ…。動物たちの様々な生態とその背景にある「社会性」に迫り、彼らの知られざる行動を紹介する。英国 Audible ベストセラー。

朝日新聞 2024/08/10

2024:3./ 729p  
978-4-478-11628-9

¥2,200 [税込]





### イエスは四度笑った(筑摩選書 0279)

米田 彰男 著  
筑摩書房

キリスト教において正典とされる四つの福音書のどこにも、イエスの笑いは出てこないが、「ユダの福音書」では、イエスは四度笑っている。聖書に表現なきイエスの「笑い」の謎を現代聖書学で照らして解明する。

朝日新聞 2024/08/10

2024:5./ 248p  
978-4-480-01798-7

¥1,870〔税込〕



### パレスチナ戦争～入植者植民地主義と抵抗の百年史～(サピエンティア 71)

ラシード・ハーリディー 著  
法政大学出版局

アラファートらと親交のあったパレスチナ研究大家が、膨大なインタビューと、確かな知識に基づく歴史叙述をベースに、娘を抱えて逃げた自身の経験などを織り交ぜながら、強大な権力に翻弄されてきた民族の一世紀を描き出す。

朝日新聞 2024/08/10

2023:12./ 406p  
978-4-588-60371-6

¥3,960〔税込〕



### シェルパ齊藤の山小屋 24 時間滞在記

齊藤 政喜 著  
山と溪谷社

北海道から九州まで、全国の山小屋 145 軒に 24 時間滞在し、個性豊かな旅の宿として紹介。雰囲気まで伝わる立体的な間取りイラストをオールカラーで収録。

『PEAKS』連載を修正し単行本化。

朝日新聞 2024/08/10

2024:7./ 310p  
978-4-635-33081-7

¥2,750〔税込〕



### 他なる映画と<1>

濱口竜介 著  
インスクリプト

私・映画史、黒沢清からフリッツ・ラングへ、侯孝賢「悲情城市」…。 「ハッピーアワー」「寝ても覚めても」「ドライブ・マイ・カー」「悪は存在しない」の映画監督・濱口竜介の映画講座集成。レクチャー原稿を基に書籍化。

朝日新聞 2024/08/10

2024:7./ 424p  
978-4-86784-006-1

¥2,750〔税込〕



### 他なる映画と<2>

濱口竜介 著  
インスクリプト

相米慎二の問い、「東京物語」の原節子、物語りについて…。 「ハッピーアワー」「寝ても覚めても」「ドライブ・マイ・カー」「悪は存在しない」の映画監督・濱口竜介の映画批評集成。雑誌等掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

朝日新聞 2024/08/10

2024:7./ 379p  
978-4-86784-007-8

¥2,750〔税込〕





### 外国航路石炭夫日記～世界恐慌下を最底辺で生きる～

広野 八郎 著  
石風社

1928(昭和3)年から4年に亘り、インド/欧州航路の石炭夫として大恐慌下を生き抜いたひとりの労働者が華氏140度の船底で、最底辺の世界を克明に記した。プロレタリア文学史上、第一級の記録。

朝日新聞 2024/08/10

2009:6./ 374p  
978-4-88344-175-4

¥3,080〔税込〕



### なぜ難民を受け入れるのか～人道と国益の交差点～(岩波新書 新赤版 2018)

橋本 直子 著  
岩波書店

<難民を保護する>とはいかなる営みか。各国はいかなる論理と方法で受け入れを行ってきたのか。日本の課題は何か。政策研究の知見と実務経験をふまえ、多角的な視点で難民問題を考える。

朝日新聞 2024/08/10、日本経済新聞 2024/08/10

2024:6./ 284p  
978-4-00-432018-0

¥1,232〔税込〕



### サンショウウオの四十九日

朝比奈 秋 著  
新潮社

私のすぐ隣にいる、もう一人のわたし。気鋭の作家が、医師としての経験と驚異の想像力で、二人で一つの身体を生きる姉妹の人生と命の普遍を描く。『新潮』掲載を単行本化。

朝日新聞 2024/08/10、日本経済新聞 2024/08/24

2024:7./ 141p  
978-4-10-355731-9

¥1,870〔税込〕



### 戦争ミュージアム～記憶の回路をつなぐ～(岩波新書 新赤版 2024)

梯 久美子 著  
岩波書店

忘れてはならない記録と記憶の継承を志す戦争ミュージアム。「大久野島毒ガス資料館」「対馬丸記念館」など、全国14の平和のための博物館を訪ね、そこで触れた土地の歴史と人びとの語りを伝える。『通販生活』連載を書籍化。

朝日新聞 2024/08/17

2024:7./ 220p  
978-4-00-432024-1

¥1,012〔税込〕



### 鳥と港

佐原 ひかり 著  
小学館

無職のみなどは、不登校の高校生・飛鳥と文通を始める。ふたりは文通を仕事にするクラウドファンディングに挑戦することに…。『STORY BOX』掲載を単行本化。テキストデータのダウンロードサービス付き。

朝日新聞 2024/08/17

2024:6./ 318p  
978-4-09-386719-1

¥1,870〔税込〕





### 奪還〜日本人難民6万人を救った男〜

城内 康伸 著  
新潮社

第二次大戦後、朝鮮半島。頭脳と度胸で38度線を突破し、「集団脱出工作」を成功させたのは、名もなき“アウトサイダー”だった。知られざる、もう一人の杉原千畝の感動の実話を描く。

朝日新聞 2024/08/17

2024:6./ 221p  
978-4-10-313733-7

¥2,090〔税込〕



### ハルビン(CREST BOOKS)

キム・フン 著  
新潮社

1909年10月26日、ハルビン駅で伊藤博文を銃撃した朝鮮青年・安重根。彼はどんな怒りを抱えてハルビンへと向かったのか。韓国の歴史小説の第一人者が、ひとりの悩める若者としての安重根を描く。

朝日新聞 2024/08/17

2024:4./ 248p  
978-4-10-590194-3

¥2,365〔税込〕



### 猫社会学、はじめます〜どうして猫は私たちにとって特別な存在となったのか?〜

赤川 学/新島 典子/柄本 三代子/秦 美香子/出口 剛司/斎藤 環 著  
筑摩書房

約9500年にわたる猫と人類の歴史のなかで、もっとも関係が深まった現代。「なぜ猫は可愛いのか」「猫島に人はなぜ訪れるのか」等、5つの視点から分析し、猫と人間の幸福な未来を構想する。斎藤環との対談も収録。

朝日新聞 2024/08/17

2024:6./ 220p  
978-4-480-86484-0

¥1,980〔税込〕



### 人類は宇宙のどこまで旅できるのか〜これからの「遠い恒星への旅」の科学とテクノロジー〜

レス・ジョンソン 著  
東洋経済新報社

未来の「星間旅行」はどのようなものとなるのか? 光子ロケットや静電セイル、反物質駆動、ワープ航法など、NASA テクノロジストの物理学者が本気で考えた宇宙トラベルガイド。

朝日新聞 2024/08/17

2024:6./ 252p  
978-4-492-80096-6

¥2,420〔税込〕



### 日清・日露戦後経営と議会政治〜官民調和構想の相克〜

伊藤 陽平 著  
吉川弘文館

日清・日露戦後は、藩閥と政党の提携が崩れ始め、立憲政友会・立憲同志会の二大政党が結成される。この時期の官民調和体制を、第三勢力としての史党を重視しつつ、官民「協調」論と「一体」論から分析する。

朝日新聞 2024/08/17

2021:10./ 336p  
978-4-642-03910-9

¥11,000〔税込〕





### つかめ!理科ダマン<1> 「科学のキホン」が身につく編

シン・テフン 著  
マガジンハウス

おならってどうしてくさいの? カミナリがジグザグに光るわけは? 身近なモノから、体のふしぎ、食べ物、生き物、宇宙まで、科学のキホンをギャグ漫画とともに楽しく解説する。韓国発の科学学習漫画。

朝日新聞 2024/08/17

2021:8./ 189p  
978-4-8387-3161-9

¥1,300 [税込]



### その猫の名前は長い

イ・ジュヘ 著  
里山社

子育てと家事の合間を縫って育んだ中年女性の友情に入る亀裂、妻の外見を愛し内面を見ない夫の視点で描く世界、女の惨めな学生時代を美化して記憶する同級生の男...。生活のリアリティが滲み出る繊細な物語 9 作品を収録。

朝日新聞 2024/08/17

2024:6./ 286p  
978-4-907497-21-7

¥2,310 [税込]



### 政務調査会と日本の政党政治～130年の軌跡～

奥 健太郎/清水 唯一朗/濱本 真輔 著  
吉田書店

明治期から平成期までの 130 年間の政務調査会の歴史を分析することを通じ、「政務調査会は歴史的にどのように形成、発展し、今日の政務調査会に至ったのか」「歴史から導出される政務調査会の本質とは何か」を明らかにする。

朝日新聞 2024/08/17

2024:4./ 7p,469p  
978-4-910590-20-2

¥4,950 [税込]



### 帝国日本の政党政治構造～二大政党の統合構想と<護憲三派体制>～

十河 和貴 著  
吉田書店

明治憲法体制と政党内閣制はいかなる構造をもって結びつき、それはなぜ限界を迎えたのか。政党内閣制が果たした機能を問いただすとともに、政党政治の限界性、およびその崩壊後に深刻化した権力割拠構造との関係性を読み解く。

朝日新聞 2024/08/17

2024:7./ 455p  
978-4-910590-23-3

¥5,280 [税込]



### 脳は眠りで大進化する(文春新書 1454)

上田 泰己 著  
文藝春秋

私たちはなぜ眠るのか。睡眠時には何が起きているのか。これまでの睡眠研究の流れ、新しい研究と発見の詳細と技術、著者が取り組んでいる睡眠健診のこと、睡眠研究の未来について、わかりやすく解説する。

朝日新聞 2024/08/17、毎日新聞 2024/08/17

2024:6./ 254p  
978-4-16-661454-7

¥1,078 [税込]





### アフリカ哲学全史(ちくま新書 1803)

河野 哲也 著  
筑摩書房

サハラ以南のアフリカ、カリブ海諸国の哲学とアフリカ大陸における哲学に影響を及ぼしたアメリカやヨーロッパでのアフリカ人の哲学を解説。従来の哲学を相対化し、複数の世界に共通する人間の思考のあり方を解明する。

2024:7./ 466p,9p  
978-4-480-07636-6

¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2024/08/17、毎日新聞 2024/08/17



### 翡翠色の海へうたう(角川文庫 ふ 48-1)

深沢 潮 著  
KADOKAWA

誰からも必要とされず、冴えない日々を送る葉奈は、人生逆転を賭けて小説家デビューを目指す。慰安婦女性や戦争に弄された哀れな女性たちが書くべきテーマだと感じた葉奈は、沖縄へ飛ぶが...

2024:7./ 262p  
978-4-04-115157-0

¥858〔税込〕



朝日新聞 2024/08/24



### できる研究者の論文生産術～どうすれば「たくさん」書けるのか～

ポール・J・シルヴィア 著  
講談社

学術的文章を生産的に執筆できるようになるためのシステムを具体的に提案した書。スケジュールに沿って書き進めるための目標の立て方や優先順位のつけ方、学術論文や書籍の執筆時に使えるヒントなどを紹介する。

2015:6./ 12p,178p  
978-4-06-153153-6

¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2024/08/24



### 本を読む本(講談社学術文庫 1299)

モーティマー・J・アドラー／チャールズ・V・ドーレン 著  
講談社

本書は、1940年米国で刊行されて以来、世界各国で翻訳され読みつがれてきた。読むに値する良書とは何か、読書の本来の意味とは何かを考え、知的かつ実的な読書の技術をわかりやすく解説している。

1997:10./ 265p  
978-4-06-159299-5

¥1,177〔税込〕



朝日新聞 2024/08/24



### ベーシックサービス～「貯蓄ゼロでも不安ゼロ」の社会～(小学館新書 470)

井手 英策 著  
小学館

カネ、運、自己責任で人生が決まる社会を終わらせたい。教育・医療・介護・障がい者福祉がタダになる衝撃のシステム「ベーシックサービス」について、貧しい母子家庭で育った財政学者が壮絶な過去とともに解き明かす。

2024:4./ 269p  
978-4-09-825470-5

¥1,056〔税込〕



朝日新聞 2024/08/24



### 檜垣澤家の炎上(新潮文庫 な-112-1)

永嶋 恵美 著  
新潮社

横濱の富豪一族、檜垣澤家。当主の妻だった母を亡くしたかな子は、商売の舵取りをする大奥様、美を競い合う三姉妹のいるこの家に引き取られる。政略結婚、軍との交渉、昏い秘密。陰謀渦巻く館でかな子が辿り着いた真実とは...

朝日新聞 2024/08/24

2024:8./ 790p  
978-4-10-105451-3

¥1,210 [税込]



### ChatGPTの頭の中(ハヤカワ新書 009)

スティーヴン・ウルフラム 著  
早川書房

進化を続ける生成 AI の可能性と限界はどこにあるのか。人工知能チャットボット「ChatGPT」の根幹をなす「ニューラルネット」「大規模言語モデル」の基礎と歴史について、理論物理学者が詳細に解き明かす。

朝日新聞 2024/08/24

2023:7./ 166p  
978-4-15-340009-2

¥1,012 [税込]



### 最終飛行(文春文庫 さ 51-4)

佐藤 賢一 著  
文藝春秋

「星の王子さま」の作者、サン＝テグジュペリは作家であり、飛行士だった。ナチス占領下、武器を積まず、自分が傷つけられる危険だけを背負いながら飛ぶ偵察飛行を繰り返した、その破天荒な半生を鮮烈に描く。

朝日新聞 2024/08/24

2024:8./ 589p  
978-4-16-792262-7

¥1,320 [税込]



### 「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるのか?～認知科学が教えるコミュニケーションの本質と解決策～

今井 むつみ 著  
日経BP社

人は、何をどう聞き逃し、都合よく解釈し、誤解し、忘れるか。これを知ることが「伝える」の出発点。コミュニケーションの困り事について、認知科学と心理学の視点から、その本質と解決策を紹介する。

朝日新聞 2024/08/24

2024:5./ 303p  
978-4-296-00095-1

¥1,870 [税込]



### 闇の中国語入門(ちくま新書 1798)

楊 駿驍 著  
筑摩書房

「生活が苦しい」「ひとりぼっちだ」など、若者から上がる悲鳴。経済の悪化や社会への不満、同調圧力への反発は、中国社会に新たな文化を生み出している。心と社会の闇を表現する 45 の言葉から、現代中国を読み解く。

朝日新聞 2024/08/24

2024:6./ 248p  
978-4-480-07623-6

¥990 [税込]





### 古くて新しい国〜ユダヤ人国家の物語〜(叢書・ユニベルシタス 1168)

テオドール・ヘルツル 著

法政大学出版局

イスラエル建国の立役者として知られるユダヤ人作家、テオドール・ヘルツル。政治的シオニズムの宣言書「ユダヤ人国家」での構想をより克明に描き出し、1902年に発表後、大きな反響を巻き起こした近未来小説を初邦訳。

朝日新聞 2024/08/24

2024:7./ 410p  
978-4-588-01168-9

¥4,400 [税込]



### 岡義達著作集

岡 義達 著

吉田書店

“岡政治学”とは何であったか。名著「政治」のほか、「権力の循環と象徴の選択」「福祉国家と大衆政党」「マス・デモクラシーと政治集団」などの単著論文、書評を収録する。岡義達略年譜・著作目録も掲載。

朝日新聞 2024/08/24

2024:5./ 4p,327p  
978-4-910590-21-9

¥4,180 [税込]



### 気候リヴァイアサン〜惑星的主権の誕生〜(Z books 003)

ジョエル・ウェインライト/ジェフ・マン 著

堀之内出版

2050年、気候変動は気温や雨量だけでなく、この星の政治のあり方も変えてしまう。気候リヴァイアサン、気候ビヒモス、気候毛沢東主義、気候Xという4つの未来の狭間で、私たちはどう生きるべきなのかを考える。

朝日新聞 2024/08/24

2024:6./ 502p  
978-4-911288-02-3

¥3,300 [税込]



### 魂の花びら、思索の文様

杉本 秀太郎 著

四明書院

美しい日本語を思うままに駆使し、文学、美術、音楽について論じた稀代の散文家・杉本秀太郎の文業から28篇を精選。杉本散文芸術の全体像とその精髓をあますところなく示す。

朝日新聞 2024/08/24

2024:5./ 577p  
978-4-9906038-2-3

¥3,300 [税込]



### オパールのはら

桐野夏生 著

中央公論新社

1999年に日本でピルが承認される約30年前に、ピル解禁と中絶の自由を訴える女がいた。一躍脚光を浴びるも、突然姿を消し…。謎多き女をめぐる証言から、世の理不尽を抉り出す長篇。『婦人公論』連載を単行本化。

朝日新聞 2024/08/24、東京・中日新聞 2024/08/25

2024:6./ 217p  
978-4-12-005788-5

¥1,870 [税込]





### 歌人探偵定家～百人一首推理抄～

羽生 飛鳥 著  
東京創元社

1186年。亡き平頼盛の長男・保盛が発見した女の死体には、生首に紫式部の和歌が添えられていた。保盛の友人・藤原定家は「屍に添えて和歌を汚す者は許せん」と憤慨。保盛を相棒に、事件解決に乗り出す! 連作ミステリ。

東京・中日新聞 2024/08/03

2024:6./ 286p  
978-4-488-02904-3

¥1,980〔税込〕



### 惣十郎浮世始末

木内昇 著  
中央公論新社

浅草の火事で2体の骸があがった。同心の惣十郎は犯人を捕らえるが、指示役の足取りは掴めない。事件を追ううちに、惣十郎がたどり着いた驚愕の真実とは? 切なさが胸に迫る捕物帳。『読売新聞』連載に加筆修正し単行本化。

東京・中日新聞 2024/08/03、読売新聞 2024/08/04

2024:6./ 542p  
978-4-12-005790-8

¥2,585〔税込〕



### 蛍の光～長州藩士維新血風録～

阿野冠 著  
徳間書店

「長州五傑」のメンバーとして明治政府草創期の中枢を担った「工学の父」山尾庸三と「初代総理大臣」伊藤博文。ふたりには墓場まで持っていくと誓った秘密があった。幕末を疾走した二人の若者の苛烈な生涯を描く時代長篇。

東京・中日新聞 2024/08/04

2024:5./ 356p  
978-4-19-865835-9

¥2,200〔税込〕



### こんなふうに、暮らしと人を書いてきた

大平 一枝 著  
平凡社

取材した台所は300軒! 市井の人々の台所から人生を描く「東京の台所」の著者によるエッセイ集。失敗だらけの28年で見えてきた<書くこと>にまつわる56篇を収録。

東京・中日新聞 2024/08/04

2024:5./ 231p  
978-4-582-83962-3

¥1,760〔税込〕



### 地震と虐殺～1923-2024～

安田浩一 著  
中央公論新社

日本社会は関東大震災における虐殺を教訓としなければならない。東京、神奈川、千葉、埼玉、大阪、韓国…。徹底した現地取材をもとに、日本では何が変わり、何が変わらないのか、事件が及ぼし続ける多様な風景を炙り出す。

東京・中日新聞 2024/08/04、日本経済新聞 2024/08/10、毎日新聞 2024/08/17

2024:6./ 598p  
978-4-12-005686-4

¥3,960〔税込〕





### みたてのくみたて～見るだけでひらめくアイデアの本～

田中 達也 著

ダイヤモンド社

ブロッコリーの森、パンの列車…。なじみ深い日用品を、別の何かに「見立て」た作品を毎日発表する世界で人気のミニチュア写真家・見立て作家が、論理的にアイデアを生み出す法則、クリエイティブな習慣を作品とともに紹介。

東京・中日新聞 2024/08/10、毎日新聞 2024/08/17

2024:7./ 159p  
978-4-478-11597-8

¥2,090〔税込〕



### 日記から～50人、50の「その時」～

坪内祐三 著

本の雑誌社

夏目漱石、佐藤栄作など、文学者や政治家等の日記からある一日を引用し、当時の社会状況や時代など「大きな歴史」では描かれることのない真実を解き明かす。『毎日新聞』2005年4月～2006年4月連載を単行本化。

東京・中日新聞 2024/08/11

2024:6./ 164p  
978-4-86011-491-6

¥1,980〔税込〕



### 天皇論～「象徴」と絶対的保守主義～

子安 宣邦 著

作品社

再発見し、定義され続ける「天皇」とは何者か？ 象徴とは何を指すのか？ 本居宣長、津田左右吉を手掛かりに、近世から登場した天皇制の言説を丁寧に追いながら、現代天皇制の本質に迫る。

東京・中日新聞 2024/08/11

2024:5./ 152p  
978-4-86793-034-2

¥2,970〔税込〕



### 流転の中將(PHP 文芸文庫 お 7-1)

奥山 景布子 著

PHP 研究所

会津藩・松平容保の弟で、桑名藩主・松平定敬は、兄と共に徳川家のために尽くそうとしたゆえに、越後、箱館、そして上海にまで流浪し…。幕末の悲劇を炙り出し、明治維新とは何だったのかを改めて問う傑作歴史小説。

東京・中日新聞 2024/08/17

2024:7./ 380p  
978-4-569-90412-2

¥1,078〔税込〕



### 決断～そごう・西武 61年目のストライキ～

寺岡 泰博 著

講談社

そごう・西武労働組合は、2023年8月31日、百貨店としては61年ぶりのストライキを決行した。池袋の街を騒然とさせた、300人のデモ行進。労組委員長が577日間の闘いを綴る。

東京・中日新聞 2024/08/18

2024:7./ 333p  
978-4-06-536407-9

¥1,980〔税込〕





## 月花美人

滝沢 志郎 著

KADOKAWA

菜澄藩の郷土・望月鞆音は、傷の治療に使う<サヤネ紙>の改良を町の女医者・佐倉虎峰から頼まれる。それは「月役(月経)」の処置に使うためであった。自分の仕事を穢らわしい用途に使われたと激怒する鞆音だったが...

東京・中日新聞 2024/08/24

2024:7./ 317p  
978-4-04-114864-8

¥2,145〔税込〕



## 市民エネルギーと地域主権～新潟「おらって」10年の挑戦～

佐々木 寛 著

大月書店

新潟で10年にわたり市民主体の再エネ事業を育ててきた政治学者が、エコ×コミュニティ×デモクラシーの実践論を語る。『おらって定期配信めるまが』掲載などを加筆し書籍化。

東京・中日新聞 2024/08/25

2024:6./ 231p  
978-4-272-33114-7

¥1,980〔税込〕



## 「ビックリハウス」と政治関心の戦後史～サブカルチャー雑誌がつくった若者共同体～

富永京子 著

晶文社

政治参加や社会運動への忌避を最も代表すると言われる、70～80年代の「しらけ世代」の若者たち。当時の伝説的サブカルチャー雑誌『ビックリハウス』から、“若者の政治離れ”の源流に迫る。折り込み表付き。

東京・中日新聞 2024/08/25

2024:7./ 329p  
978-4-7949-7436-5

¥2,750〔税込〕



## 永遠なる「傷だらけの天使」(集英社新書 1213)

山本 俊輔/佐藤 洋笑 著

集英社

テレビドラマ「傷だらけの天使」はなぜ、いまだ心に残り続けるのか。当時の若者カルチャーの最先端を行き、多くのクリエイターにも影響を及ぼしたこの番組の関係者に取材し、その理由と価値を問う。

読売新聞 2024/08/04

2024:4./ 238p  
978-4-08-721313-3

¥1,089〔税込〕



## あしたのことば(新潮文庫 も-48-1)

森 絵都 著

新潮社

おしゃべりな周也と寡黙な律が、ちょっとした行き違いから気まづいまま下校していると...。小学校教科書に掲載された「帰り道」など、言葉をテーマにした珠玉の短編集。書き下ろし「%」を新たに収録。

読売新聞 2024/08/04

2024:7./ 187p  
978-4-10-105381-3

¥781〔税込〕





### たぶん私たち一生最強

小林 早代子 著  
新潮社

「もうさー女友達と一生暮らしたいんだよね最近は!」 酔って叫んだひと言が 26 歳  
独身 4 人組の運命を変えた。私たちの幸せってなに? エンドレスガールズトーク小  
説。『小説新潮』掲載を加筆修正し書下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2024/08/04

2024:7./ 218p  
978-4-10-351762-7

¥1,760〔税込〕



### 間違い学〜「ゼロリスク」と「レジリエンス」〜(新潮新書 1048)

松尾 太加志 著  
新潮社

手術患者の取り違い、投薬ミスによる死亡事故など、なぜ、どのように間違いは起こ  
るのか? 大惨事につなげないためにはどうすればいいのか? 世の中に DX が浸透する  
現状もふまえ、最新の知見をもとに徹底分析する。

読売新聞 2024/08/04

2024:6./ 223p  
978-4-10-611048-1

¥880〔税込〕



### 没落官僚〜国家公務員志願者がゼロになる日〜(中公新書ラクレ 818)

中野雅至 著  
中央公論新社

「スーパーエリート」と「下請け労働者」、二極化が進む官僚。公務員制度改革に関  
わってきた元労働省キャリアが、実体験をおりませながら「政官関係」「天下り」  
「東大生の公務員離れ」等の論点から改革 30 年間を総括する。

読売新聞 2024/08/04

2024:7./ 262p  
978-4-12-150818-8

¥990〔税込〕



### ぼくもいくさに征くのだけれど〜竹内浩三の詩と死〜(中公文庫)

稲泉 連 著  
中央公論新社  
読売新聞 2024/08/04

2007:7./ 346p  
978-4-12-204886-7

¥796〔税込〕



### ヨーロッパの大聖堂〜美しい荘厳な芸術〜 コンパクト版

ロルフ・トーマン 編  
バルバラ・ポルンゲッサー 著  
河出書房新社

ヨーロッパ主要 11 ヶ国 125 都市を網羅し、最も美しく最も重要な 151 聖堂・教会を  
収録した、オールカラーの写真図鑑のコンパクト版。職人たちの技術と情熱、ヨーロ  
ッパ文化の極致ともいえる至宝をくまなく紹介する。

読売新聞 2024/08/04

2024:4./ 399p  
978-4-309-25738-9

¥5,478〔税込〕





### 法律文章読本

白石 忠志 著  
弘文堂

法律文章において、正確さと分かりやすさは、どうしたら両立できるのか？ 条文の読み方や扱い方、公用文のルールといった約束事などの「細部」に光を当て、著者自身の心掛けとともに解説する。

読売新聞 2024/08/04

2024:4./ 232p  
978-4-335-35992-7

¥2,200〔税込〕



### 初夏ものがたり(ちくま文庫 や43-4)

山尾 悠子／酒井 駒子 著  
筑摩書房

今は亡き人が大切な人の許を訪れる。その仲立ちをするのは、謎の日本人ビジネスマン、タキ氏で…。著者の初期ファンタジー小説集「オットーと魔術師」に収録された「初夏ものがたり」に酒井駒子の挿絵を加える。

読売新聞 2024/08/04

2024:6./ 212p  
978-4-480-43955-0

¥1,100〔税込〕



### つげ義春が語る旅と隠遁

つげ 義春 著  
筑摩書房

「もっと寂しい所で誰にも看とられずにずっと消えたいね。都会じゃ未練が残るじゃない…」 マンガ家・つげ義春のインタビュー、対談を集大成。旅、温泉、人生、宗教観、生活など、独特な作品の背景が浮かび上がる。

読売新聞 2024/08/04

2024:4./ 398p  
978-4-480-81864-5

¥2,530〔税込〕



### つげ義春が語るマンガと貧乏

つげ 義春 著  
筑摩書房

1987年を最後に長い休筆期間にある、マンガ家・つげ義春のインタビュー、対談を集大成。貸本時代の悪戦苦闘、衝撃を与えた作品「紅い花」「ねじ式」など、過去50年間の発言からマンガ家人生をたどる。

読売新聞 2024/08/04

2024:6./ 381p  
978-4-480-81865-2

¥2,530〔税込〕



### ライ麦畑でつかまえて(白水Uブックス)

J.D.サリンジャー 著  
白水社

読売新聞 2024/08/04

1984:5./ 332p  
978-4-560-07051-2

¥968〔税込〕





### 昭和街場のはやり歌～戦後日本の希みと躓きと祈りと災いと～<続>

前田 和男 著  
彩流社

はやり歌から、明日の日本の姿が見えてくる。歌とともに時代を共有した「団塊」というベビーブーマー世代が、エピソードを交えて描く歌謡社会文化論第2弾。

『RONZA』連載を改稿・再構成して書籍化。

読売新聞 2024/08/04

2024:5./ 238p  
978-4-7791-2976-6

¥2,420〔税込〕



### 企業ミュージアムへようこそ～PR 資産としての魅力と可能性～<上巻>

電通 PR コンサルティング 著  
時事通信出版局

ブランドストーリーを伝える究極のオウンドメディア「企業ミュージアム」を徹底解説する。上巻は、資生堂企業資料館、日本郵船歴史博物館、アドミュージアム東京などを収録。『ウェブ電通報』連載を再編集。

読売新聞 2024/08/04

2023:10./ 141p  
978-4-7887-1881-4

¥1,540〔税込〕



### 企業ミュージアムへようこそ～PR 資産としての魅力と可能性～<下巻>

電通 PR コンサルティング 著  
時事通信出版局

ブランドストーリーを伝える究極のオウンドメディア「企業ミュージアム」を徹底解説する。下巻は、グンゼ博物苑、ミキモト真珠島、JAL スカイミュージアム、ツムラ漢方記念館などを収録。『ウェブ電通報』連載を再編集。

読売新聞 2024/08/04

2024:7./ 151p  
978-4-7887-1900-2

¥1,650〔税込〕



### ペットが死について知っていること～伴侶動物との別れをめぐる心の科学～ (草思社文庫 マ7-1)

ジェフリー・M・マッソン 著  
草思社

ペットは死をどう認識しているのか。飼い主はペットとの別れにどう向き合えばいいのか。動物の心の問題をライフワークとしてきた著者が、動物と人間の交流の様々な事例を通して、死についての感情世界の核心に迫る。

読売新聞 2024/08/04

2024:6./ 345p  
978-4-7942-2730-0

¥1,430〔税込〕



### 外岡秀俊という新聞記者がいた

及川 智洋 著  
田畑書店

2021年に急逝した外岡秀俊。東大在学中に「北帰行」でデビューを果たしながら、朝日新聞社に入社。以後40数年にわたるジャーナリスト人生を伝えるオーラル・ヒストリー。未刊行の処女作「白い蝙蝠は飛ぶ」も収録。

読売新聞 2024/08/04

2024:5./ 436p  
978-4-8038-0436-2

¥3,300〔税込〕





### 宇宙開発の思想史～ロシア宇宙主義からイーロン・マスクまで～

フレッド・シャーメン 著

作品社

われわれは、なぜ<宇宙>を目指してきたのか？ 宇宙科学と空想科学を縦横に行き来し、「宇宙進出=新たな世界の創造」をめぐる歴史上の7つのパラダイムを検証する。

読売新聞 2024/08/04

2024:6./ 281p  
978-4-86793-036-6

¥2,970〔税込〕



### キネマ旬報の100年～100TH ANNIVERSARY BOOK～(キネマ旬報ムック)

キネマ旬報社

1919年の創刊から100年以上経った『キネマ旬報』。歴代の表紙をカラーで振り返るほか、偉大な映画人たちが残した貴重な記事の数々を当時のままに再録する。伝説ともいわれた人気連載の復刻や、新たな記事も収録。

読売新聞 2024/08/04

2024:7./ 362p  
978-4-87376-885-4

¥3,300〔税込〕



### 離島建築～島の文化を伝える建物と暮らし～(味なたてもの探訪)

箭内博行 著

トゥーヴァージンズ

鯨漁の繁栄を語る和洋折衷の不思議な建物、唯一無二の石造り集落、佐渡に残る元妓楼旅館…。東西南北に点在する日本の100の島の150以上の建造物を通して、島特有の文化や暮らし、住人のストーリーを写真とともに紹介。

読売新聞 2024/08/04、読売新聞 2024/08/11

2024:4./ 191p  
978-4-908406-95-9

¥2,200〔税込〕



### 犬身<上>(朝日文庫 ま31-3)

松浦 理英子、松浦 理英子 著

朝日新聞出版

読売新聞 2024/08/11

2019:12./ 344p  
978-4-02-264945-4

¥792〔税込〕



### 犬身<下>(朝日文庫 ま31-4)

松浦 理英子、松浦 理英子 著

朝日新聞出版

読売新聞 2024/08/11

2019:12./ 296p  
978-4-02-264946-1

¥792〔税込〕



### 外国人しか知らない日本の観光名所(星海社新書 302)

東大カルペ・ディエム 著

星海社

訪日外国人が興味を持つのは、典型的な観光名所ばかりではない。全国56ヶ所の「外国人しか知らない観光名所」を取り上げ、なぜ世界で知られるようになったのか、どのような外国人から人気を集めているのかを解説する。

読売新聞 2024/08/11

2024:7./ 221p  
978-4-06-536376-8

¥1,430〔税込〕





### ごきげんになる技術～キャリアも人間関係も好転する、ブレないメンタルの 整え方～

佐久間 宣行 著  
集英社

メンタルが安定していて、ブレない軸がある「ごきげん」な状態にいるには。「SNS  
を見ていると心が病む」「モチベーションが低い」といった悩みに答えながら、自分  
をすり減らさない生き方を紹介する。

読売新聞 2024/08/11

2024:7./ 190p  
978-4-08-788099-1

¥1,540〔税込〕



### さまよえる神剣

玉岡 かおる 著  
新潮社

小楯家の次男・有綱は、承久の変に敗れ隠岐に流される後鳥羽上皇を警護する最中、  
上皇寵愛の伊賀局から謎めいた使命を受ける。それを源平合戦の際、壇ノ浦で失われ  
た三種の神器の剣を探すことと理解した有綱は…。

読売新聞 2024/08/11

2024:4./ 461p  
978-4-10-373718-6

¥2,420〔税込〕



### 不倫の心理学(新潮新書 1046)

アンジェラ・アオラ 著  
新潮社

人はなぜ不倫をするのか? パートナーシップをめぐる尽きない問いに、夫の不倫から  
離婚を経験したスウェーデンの女性心理学者が向き合い、男と女の性と性(さが)を徹  
底的かつ赤裸々に描き出す。

読売新聞 2024/08/11

2024:6./ 350p  
978-4-10-611046-7

¥1,430〔税込〕



### 歪んだ幸せを求める人たち～ケーキの切れない非行少年たち(3)～(新潮新書 1050)

宮口 幸治 著  
新潮社

「おばあちゃんを悲しませたくないで殺そうと思いました」非行少年の中にはと  
てつもない歪んだ考え方を基に行動する者がいる。幸せを求めて不幸を招く人の戦慄  
のロジックと、歪みから脱却する方法を臨床例と共に詳述する。

読売新聞 2024/08/11

2024:7./ 187p  
978-4-10-611050-4

¥836〔税込〕



### 中華文人食物語(中公文庫 な 83-1)

南條竹則 著  
中央公論新社

詩人の名を冠した豚肉煮、始皇帝への恨みをこめた魚料理…。中華料理の複雑な味わ  
い、山海珍味の調理法に秘められた歴史を彩る文人、皇帝、悪党、民衆たちのエピソ  
ードを紹介する。「魯迅と楊梅焼」などを増補し文庫化。

読売新聞 2024/08/11

2024:6./ 285p  
978-4-12-207532-0

¥990〔税込〕





### 若い男/もうひとりの娘

アニー・エルノー 著

早川書房

親子ほど年の離れた男との熱愛を描く「若い男」、自らの誕生につながった姉の死の秘密「もうひとりの娘」。2022年にノーベル文学賞を受賞したアニー・エルノーの半世紀にわたる作家活動の精華を示す作品集。

読売新聞 2024/08/11

2024:5./ 151p  
978-4-15-210331-4

¥2,640〔税込〕



### 熱帯(文春文庫 も 33-1)

森見 登美彦 著

文藝春秋

ある日、忽然と消えた一冊の本。佐山尚一なる男が記したその本「熱帯」を求め、森見登美彦は東京へ。そこには既に手掛かりを得て探索に乗り出さんとする一団がおり、彼らもまた摩訶不思議な光景に心を囚われていた。

読売新聞 2024/08/11

2021:9./ 554p  
978-4-16-791746-3

¥1,034〔税込〕



### 遠い町から来た話

シヨン・タン 著

河出書房新社

町のはずれに住んでいた水牛、誰にも愛されなかった物から作り出したペット、異次元からのちっちゃな交換留学生…。平凡な毎日の奇妙な断片に光を当てて、様々なスタイルのイラストレーションと共に紡ぐ短編集。

読売新聞 2024/08/11

2011:10./ 89p  
978-4-309-20577-9

¥1,980〔税込〕



### へたな人生論より枕草子〜美しい生き方ができる大人になるために〜 新装版(河出文庫 お 14-2)

荻野 文子 著

河出書房新社

「枕草子」を荻野流に読みといて浮かび上がってきたのは、華やかだが権謀術数渦巻く宮廷世界で「美しさ」を手放すまいと懸命に足掻いた一人の女性の姿だった…。清少納言の美意識から、美しい生き方を学ぶ。

読売新聞 2024/08/11

2024:7./ 237p  
978-4-309-42120-9

¥891〔税込〕



### 死を受け入れること〜生と死をめぐる対話〜(祥伝社黄金文庫 G よ 8-1)

養老孟司/小堀鷗一郎 著

祥伝社

「死ぬ」とはどういうこと? 「老い」とはどういうこと? 3000体の死体を観察してきた解剖学者・養老孟司と、700人以上を看取ってきた訪問診療医・小堀鷗一郎が、「死」について語り合う。

読売新聞 2024/08/11

2024:6./ 195p  
978-4-396-31849-9

¥792〔税込〕





### 結婚の社会学(ちくま新書 1789)

阪井 裕一郎 著

筑摩書房

事実婚、ステップファミリー、同性パートナーシップ、選択的シングルなど、日々変化する結婚をめぐる常識。国際比較、歴史的比較、理論という視点から、結婚を解き明かし、新たな家族像を示す。

読売新聞 2024/08/11

2024:4./ 312p,5p  
978-4-480-07614-4

¥1,100 [税込]



### 葬儀業～変わりゆく死の儀礼のかたち～(平凡社新書 1059)

玉川 貴子 著

平凡社

社会や経済の影響を受け、独自の発展を遂げてきた葬儀業界。多様性が重視される時代の中で葬儀はどうなっていくのか。業界の変遷や葬儀の現況を知ることで自らの「その時」を見つめ直す一冊。

読売新聞 2024/08/11

2024:5./ 207p  
978-4-582-86059-7

¥1,100 [税込]



### 縫い目のほつれた世界～小氷期から現代の気候変動にいたる文明の歴史～

フィリップ・ブローム 著

法政大学出版局

16～17世紀に世界を襲った寒冷化と、それに伴う飢饉、疫病、戦争。生きようともがく人々の営みから、技術と社会の革新が生まれ、新たな文化と思想が開花した。近代への転換点となった<氷の時代>を描く。

読売新聞 2024/08/11

2024:4./ 363p,50p  
978-4-588-35237-9

¥3,960 [税込]



### 大学における自殺予防対策～理解と実践的アプローチ～

高橋 あすみ 著

学苑社

大学における全学的な自殺予防対策を推進するための必読書。学生の自殺の実態や大学を取り巻く状況を解説しながら、実施されている対策や今後の課題・展望を論じる。

読売新聞 2024/08/11

2024:6./ 192p  
978-4-7614-0854-1

¥2,970 [税込]



### 忘却の効用～「忘れること」で脳は何を得るのか～

スコット・A・スモール 著

白揚社

認知機能、創造力、メンタルヘルス、人格形成、そして記憶にも、「忘れること」が必要だった。神経生物学、医学、心理学、コンピューター科学などの分野の知見から、脳の機能としての<忘却>にまつわる驚きの発見を描く。

読売新聞 2024/08/11

2024:5./ 253p  
978-4-8269-0258-8

¥3,080 [税込]





### ルール?本〜創造的に生きるためのデザイン〜

菅俊一／田中みゆき／水野祐 著  
フィルムアート社

ルールは人を縛るものではなく、この社会で自由に生きるためのもの。創造的に生きるためのルールのデザインを扱った入門書。2021年開催「ルール?展」を元に、全編書き下ろしのテキストと座談会、寄稿を加えて書籍化。

読売新聞 2024/08/11

2024:5./ 319p  
978-4-8459-2144-7

¥2,640〔税込〕



### 今日の人生<3> いつもの場所で

益田ミリ 著  
ミシマ社

人生には、何もなくていい時がある。ぼんやりしないほうがもったいない。益田ミリが日々思ったことを漫画で描く。小説「念のため」も収録。『みんなのミシマガジン』連載を再構成し、書き下ろしを加える。

読売新聞 2024/08/11

2024:4./ 239p  
978-4-911226-03-2

¥1,760〔税込〕



### 古代王権〜王はどうして生まれたか〜(シリーズ古代史をひらく 2)

吉村 武彦、吉川 真司、川尻 秋生 著  
岩波書店

奴国、邪馬台国連合、ヤマト王権…。日本列島において、王はどのようにして誕生し、統一を果たしたのか。考古資料を駆使して、王が出現し、王として認められた歴史的条件を解明する。天皇と中国皇帝のあり方も対比し検討する。

読売新聞 2024/08/18

2024:5./ 366p  
978-4-00-028638-1

¥3,080〔税込〕



### 塞王の楯<上>(集英社文庫 歴史時代 い 96-1)

今村 翔吾 著  
集英社

時は戦国。石垣職人“穴太衆”の頂点に君臨する塞王・飛田源斎の弟子、匡介は、世の戦を途絶えさせるために、鉄壁の石垣造りを目指す。一方、鉄砲職人“国友衆”の若き鬼才・国友彦九郎は、脅威の鉄砲で戦なき世を目指す…。

読売新聞 2024/08/18

2024:6./ 365p  
978-4-08-744656-2

¥880〔税込〕



### 塞王の楯<下>(集英社文庫 歴史時代 い 96-2)

今村 翔吾 著  
集英社

太閤秀吉が病没した。穴太衆・飛田屋の頭となった匡介は、京極高次から琵琶湖畔にある大津城の石垣の改修を任される。立ち上がるは、彦九郎率いる国友衆と最新の鉄砲。最強の楯と至高の矛、ふたつの魂が行き着く先は…。

読売新聞 2024/08/18

2024:6./ 362p  
978-4-08-744657-9

¥880〔税込〕





### 「反・東大」の思想史(新潮選書)

尾原 宏之 著  
新潮社

国家のエリート養成機関として設立された「東大」。最高学府の一極集中に対し、昂然と反旗を翻した教育者・思想家がいた。東大から排除された、あるいは背を向けた人々による抵抗と挑戦の歴史。『考える人』連載に加筆修正。

読売新聞 2024/08/18

2024:5./ 311p  
978-4-10-603909-6

¥1,980〔税込〕



9 78 4106 039096



### 東京いい店はやる店〜バブル前夜からコロナ後まで〜(新潮新書 1045)

柏原 光太郎 著  
新潮社

ネットでは分からない本当にうまい店とは。フランス料理の隆盛、イタ飯ブーム、エンタメレストラン、フーディーの登場、イノベティブレストラン等、当代きっての美食家が現代日本の外食グルメの歴史を自身の体験と共に記す。

読売新聞 2024/08/18

2024:6./ 207p  
978-4-10-611045-0

¥858〔税込〕



9 78 4106 110450



### 日本列島はすごい〜水・森林・黄金を生んだ大地〜(中公新書 2800)

伊藤孝 著  
中央公論新社

変化に富んだ気候が豊かな資源を生み、国土を潤す日本列島。時空を超えて島国の成り立ちと形を一望し、水、火、塩、森、鉄、黄金が織りなした日本列島史を読みなおし、天災から命を守り、資源を活かす暮らしの醍醐味を語る。

読売新聞 2024/08/18

2024:4./ 4p,238p  
978-4-12-102800-6

¥1,012〔税込〕



9 78 4121 028006



### 日本復帰 50 年琉球沖縄史の現在地

歴史学研究会 編  
東京大学出版会

沖縄の日本復帰から 50 年。沖縄の視点から日本史の本質的な理解につながる研究が進展し、あるべき沖縄の関係性がつむぎ直されてきた。沖縄の歴史研究の軌跡をたどりながら、一地域史に留まらない視座を提示し、展望をひらく。

読売新聞 2024/08/18

2024:6./ 272p  
978-4-13-023083-4

¥3,960〔税込〕



9 78 4130 230834



### 少子高齢社会のみえない格差〜ジェンダー・世代・階層のゆくえ〜

白波瀬 佐和子 著  
東京大学出版会

少子高齢化をキーワードに 3 つの問題を設定。それらの高学歴化、未婚化・晩婚化、経済的格差というマクロな変化を結婚・役割分担・同居形態・支援提供という個人の行為の側面に注目し、ジェンダーと世代、階層論の立場で分析。

読売新聞 2024/08/18

2005:2./ 224p  
978-4-13-051121-6

¥4,180〔税込〕



9 78 4130 511216



### われは熊楠

岩井 圭也 著  
文藝春秋

少年・南方熊楠の希みは学問で身を立て、この世の全てを知りつくすこと。父の反対をおしきって海を渡るが、研究はなかなか進まず…。かつてない熊楠像で綴る、エモーショナルな歴史小説。『別冊文藝春秋』連載を単行本化。

読売新聞 2024/08/18

2024:5./ 331p  
978-4-16-391840-2  
¥2,200〔税込〕



### ウェルカム・ホーム!(幻冬舎文庫 ま-38-1)

丸山正樹 著  
幻冬舎

拒食状態の登志子さんが一度だけきちんと食べたのはなぜ? 口に麻痺のある當間さんが言う「アアイオウエ」とは? 謎が解けるたび、新米介護士・康介は、仕事が少し好きになり…。特養老人ホームの日常を描いた連作短編集。

読売新聞 2024/08/18

2024:7./ 346p  
978-4-344-43399-1  
¥869〔税込〕



### 新・東京の喫茶店〜琥珀色の日々、それから〜

川口 葉子 著  
実業之日本社

心やすまる空間、おいしいコーヒー、控えめな店主、粋なお客さま…。東京の古き良き喫茶店 77 軒を紹介。喫茶店店主らとの往復書簡も掲載する。データ:2024年5月現在。

読売新聞 2024/08/18

2024:6./ 207p  
978-4-408-65086-9  
¥1,980〔税込〕



### 刑の重さは何で決まるのか(ちくまプリマー新書 454)

高橋 則夫 著  
筑摩書房

「懲役 10 年に処する」の根拠を考えたことはあるか。犯罪とは何か、なぜ刑が科されるのか。制裁としての刑罰はどうあるべきか。「刑法学」の考え方を丁寧に解説する。

読売新聞 2024/08/18

2024:4./ 201p  
978-4-480-68475-2  
¥946〔税込〕



### 結晶世界(創元 SF 文庫)

J・G・バラード 著  
東京創元社

読売新聞 2024/08/18

1992:1./ 245p  
978-4-488-62902-1  
¥858〔税込〕





### 一片冰心～谷垣禎一回顧録～

谷垣禎一／水内茂幸／豊田真由美 著  
扶桑社

時代の岐路に立つ日本社会。野党時代の自民党総裁・谷垣禎一が、半生を振り返るとともに「政治の原点」を語る。大島理森、小林鷹之との対談も収録。『産経新聞』連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2024/08/18

2024:5./ 253p  
978-4-594-09747-9

¥1,870〔税込〕



### 41人の嵐～台風10号と両俣小屋全登山者生還の一記録～(ヤマケイ文庫)

桂木 優 著  
山と溪谷社

1982年、南アルプス・北岳にある両俣小屋に襲いかかる巨大台風。繰り返す大自然の猛威。小屋番はリーダーとして何を決断し、実行したのか。大型台風襲来からの生還記。学生たちの手記も収録。解説等を加えて文庫化。

読売新聞 2024/08/18

2024:7./ 237p  
978-4-635-04987-0

¥1,210〔税込〕



### サンダー・キャッツの発酵の旅～世界中を旅して見つけたレシピ、技術、そして伝統～(Make:Japan Books)

Sandor Ellix Katz 著  
オライリー・ジャパン

発酵の冒険への招待状。アジアからヨーロッパ、中南米、北極圏まで、各地の食材を最大限活かすための伝統の技術と、それを伝える人々の情熱を、ユニークな発酵食品の味わいと共に伝える。レシピと記録写真も多数掲載。

読売新聞 2024/08/18

2024:6./ 14p,319p  
978-4-8144-0057-7

¥3,520〔税込〕



### 政治はなぜ失敗するのか～5つの罠からの脱出～

ベン・アンセル 著  
飛鳥新社

政治に強く関係する、民主主義、平等、連帯、安全、繁栄という概念がそれぞれに抱える「罠」。近視眼的選択をしてしまう私たちが「罠」を乗り越えて、いかに長期的に望ましい決定を行うことができるかを議論する。

読売新聞 2024/08/18

2024:4./ 421p  
978-4-86801-007-4

¥3,500〔税込〕



### さらば南洋!さらば戦友!～パラオの「墓守」倉田洋二元二等兵～

安斎 晃 著  
木魂社

アンガウル玉砕戦を自決せずに生還した元二等兵は、戦後パラオへ移り住み、死の直前まで「戦友の御霊」を守り抜いた。島の美しい自然、慰霊公園、旧日本軍の陣地跡…。戦争を背負って生きた男の墓守生活を追った写真集。

読売新聞 2024/08/18

2024:7./ 119p  
978-4-87746-121-8

¥3,850〔税込〕





**新編啄木歌集(ワイド版岩波文庫)**

久保田 正文 編  
石川 啄木 著  
岩波書店

東海の小島の磯の白砂にわれ泣きぬれて蟹とたはむるー。貧困と孤独にあえぎながら、重くのしかかる現実を3行書きの短歌で歌った石川啄木。歌集「一握の砂」「悲しき玩具」に新聞・雑誌等に発表した歌を加え、その足跡を辿る。

読売新聞 2024/08/25

2006:2./ 440p



9 78 40 00 07 26 63



**風のマジム(講談社文庫 は 103-2)**

原田 マハ 著  
講談社

南大東島のサトウキビを使って、日本初の沖縄産アグリコール・ラム酒を造りたい! まじむは持ち前の体当たり精神で島に渡り、伝説の醸造家を口説き落とし…。実話を基に描くサクセス・ストーリー。

読売新聞 2024/08/25

2014:8./ 307p

978-4-06-277887-9

¥770 [税込]



9 78 40 06 27 78 87 9



**ひめゆりの塔(講談社文庫 い 22-3)**

石野 径一郎 著  
講談社

太平洋戦争末期の沖縄戦。女子師範と第一高女の女学生ばかりで、ひめゆり部隊が結成された。野戦病院を出発し、砲撃の中を米須の洞窟へと向かった彼女たちの90日。戦場に散った青春への愛惜が胸に迫る名作。

読売新聞 2024/08/25

2015:12./ 289p

978-4-06-293287-5

¥726 [税込]



9 78 40 06 29 32 87 5



**宝島~HERO's ISLAND~<上>(講談社文庫 し 106-2)**

真藤 順丈 著  
講談社

米軍基地を襲撃した夜、“英雄”のオンちゃんが消えた。彼の帰還を待ちつつ、故郷を取り戻すため立ち上がる、グスク、ヤマコ、レイ。長じて警官、教師、テロリストとなった幼馴染たちは、米軍統治下の沖縄を生き抜き…。

読売新聞 2024/08/25

2021:7./ 448p

978-4-06-524373-2

¥924 [税込]



9 78 40 06 52 43 73 2



**宝島~HERO's ISLAND~<下>(講談社文庫 し 106-3)**

真藤 順丈 著  
講談社

“英雄”だったオンちゃんが消えた夜、彼が手にしていたという「予定にない戦果」。沖縄の本土復帰に向けた大きな流れに翻弄されつつ、ひたすらに走り続けた幼馴染たちがたどり着いた、オンちゃんが命を懸けた「秘密」とは…。

読売新聞 2024/08/25

2021:7./ 256p

978-4-06-524374-9

¥715 [税込]



9 78 40 06 52 43 74 9



### なめらかな人

百瀬 文 著

講談社

たとえこの地球に散り散りに住むことになったとしても家族でいられるように、わたしたちは将来の約束をしない。新進気鋭の美術家による清冽なエッセイ。『群像』連載を単行本化。

読売新聞 2024/08/25

2024:5./ 254p  
978-4-06-535532-9

¥1,650 [税込]



### 鉄道員(ぼっばや)(集英社文庫)

浅田 次郎 著

集英社

娘を亡くした日も、妻を亡くした日も、男は駅に立ち続けた。心を揺さぶる“やさしい奇蹟”の物語...表題作はじめ、「ラブ・レター」「角筈にて」など8編収録。第117回直木賞受賞作。

読売新聞 2024/08/25

2000:3./ 298p  
978-4-08-747171-7

¥814 [税込]



### 22歳の扉

青羽 悠 著

集英社

京都の大学に入学した田辺朔。漫然と授業を受け、バイトをしているうちに1回生前期は終わってしまった。後期に入り、旧文学部棟の地下でひっそりと営業されているバーのマスター夷川と出会い、朔の大学生活は一変した...

読売新聞 2024/08/25

2024:4./ 332p  
978-4-08-775467-4

¥1,980 [税込]



### 塩狩峠 改版(新潮文庫)

三浦 綾子 著

新潮社

読売新聞 2024/08/25

2005:2./ 459p  
978-4-10-116201-0

¥935 [税込]



### サヴァナの王国(新潮文庫 ク-44-1)

ジョージ・ドーズ・グリーン 著

新潮社

ジョージア州サヴァナで考古学者の女性が拉致され、阻止しようとした青年が刺殺された。遺体が発見された空き家の所有者が容疑者となるが、やがてこの地方に密かに伝わる“歴史の闇”が明らかになり...。ゴシック・ミステリー。

読売新聞 2024/08/25

2024:8./ 552p  
978-4-10-240621-2

¥1,210 [税込]





### スイマーズ(CREST BOOKS)

ジュリー・オオツカ 著

新潮社

ある日、公営プールの底に原因不明のひびが入る。プールに通い詰め、いつも力強く泳いでいたアリスの認知症は、自分の名前を思い出せないほどに進行し…。現代を生きる人々の喜びと苦しみに共鳴させる中篇小説。

読売新聞 2024/08/25

2024:6./ 159p  
978-4-10-590195-0

¥2,035〔税込〕



### 伝説の化けもの図鑑〜怖い!でも見てみたい...〜

山北篤 著

中央公論新社

妖怪、妖精、モンスターなど、人間をおびやかす「化けもの」140種の行動パターンと誕生秘話をイラストとともに紹介する。世界の悪魔・ドラゴン、学校にいるおばけたちも掲載。

読売新聞 2024/08/25

2024:7./ 159p  
978-4-12-005804-2

¥1,540〔税込〕



### 人口減少時代の再開発〜「沈む街」と「浮かぶ街」〜(NHK出版新書 724)

NHK取材班 著

NHK出版

その再開発は、高層化ありきのスキームとなっていないか、資材や人件費の高騰による財政リスクにどう対処しているか、住民目線を置き去りにしていないか。福岡、秋葉原、中野、福井など現地の徹底取材で再開発の深部に迫る。

読売新聞 2024/08/25

2024:7./ 251p  
978-4-14-088724-0

¥1,023〔税込〕



### きれいに生きましょうね〜90歳のお茶飲み話〜

草笛 光子 著

文藝春秋

とっておきの健康法、自然体の着こなし術、スターたちとの交遊録、女優人生70年の歩み…。90歳で映画の主演を務めた草笛光子が、老いてゆく日々思うこと、感じることを綴る。『週刊文春』連載に加筆修正。

読売新聞 2024/08/25

2024:5./ 268p  
978-4-16-391769-6

¥1,870〔税込〕



### 氷平線(文春文庫 さ 56-1)

桜木 紫乃 著

文藝春秋

真っ白に海が凍るオホーツク沿岸の町で、静かに再会した男と女の凄烈な愛を描いた表題作、酪農の地を継ぐ者たちの悲しみと希望を牧草匂う交歓の裏に映し出した「雪虫」など、全6編を収録。

読売新聞 2024/08/25

2012:4./ 262p  
978-4-16-783601-6

¥682〔税込〕





### 怖いこわい京都(文春文庫 い76-2)

入江 敦彦 著  
文藝春秋

微笑みに隠された得体のしれぬ怖さ...それこそが京都の真骨頂だ。千年の情念が積もった都で飄々と暮す人々だけが知る恐怖を、生粋の京都人がご案内。美しくも恐ろしい京都の「百物語」。怖い場所リスト・地図付き。

読売新聞 2024/08/25

2024:7./ 350p  
978-4-16-792253-5

¥1,001〔税込〕



### 企業変革のジレンマ～「構造的無能化」はなぜ起きるのか～

宇田川元一 著  
日経BP社

会社の変革が進まないのはなぜか。人や組織に必要な変化・イノベーションが生まれないという問題のメカニズムを「構造的無能化」という独自の概念で読み解き、解決の糸口を示す新しい企業変革論。

読売新聞 2024/08/25

2024:6./ 287p  
978-4-296-11592-1

¥2,420〔税込〕



### 北帰行(河出文庫 そ4-1)

外岡 秀俊 著  
河出書房新社

中学卒業後、北海道の炭鉱町から東京に集団就職した私。だが町工場での「事故」により、職を失ってしまう。やがて私は、石川啄木の足跡を辿りながら、再びふるさとへと向かうが…。青春小説の金字塔。

読売新聞 2024/08/25

2022:9./ 286p  
978-4-309-41915-2

¥1,089〔税込〕



### おじさんは傘をさせない(PHP 文芸文庫 さ9-1)

坂井 希久子 著  
PHP研究所

働き方、家族との関係などの意識をアップデートできずに悩む「おじさん」たちが、あるきっかけから自分の人生を見つめ直していき…。時代の変化に対応できない中年男性の悲哀を切なく、時にコミカルに描いた連作短編集。

読売新聞 2024/08/25

2024:7./ 310p  
978-4-569-90414-6

¥924〔税込〕



### 新篇辻の華

上原 栄子 著  
時事通信社

女だけで運営された、世界に類を見ない沖縄・那覇の花街「辻」。4歳の時、父親に売られ、尾類(遊女)として育った沖縄女性の数奇な半生を描く。同名作品全3巻のダイジェスト。

読売新聞 2024/08/25

2010:6./ 443p  
978-4-7887-1064-1

¥2,640〔税込〕





### あなたの猫を世界でいちばん幸せにする方法

ナショナル ジオグラフィック 編  
ザジー・トッド 著  
日経ナショナルジオグラフィック社

猫が幸せを感じるのはどんなとき？ においは猫にとってどれほど大切なのか？ 猫の「なぜ」を丁寧に解き明かし、つねに最良の方法を選択できる賢い飼い主になるための知識を提供する。猫の幸福度チェックリスト付き。

読売新聞 2024/08/25

2024:5./ 357p,17p  
978-4-86313-612-0

¥2,420〔税込〕



9 78 4863 136120



### あなたの犬を世界でいちばん幸せにする方法

ナショナル ジオグラフィック 編  
ザジー・トッド 著  
日経ナショナルジオグラフィック社

犬が幸せを感じるのはどんなとき？ 犬に選択肢を与えることは、なぜ大切なのか？ 犬の「なぜ」を丁寧に解き明かし、つねに最良の方法を選択できる賢い飼い主になるための知識を提供する。犬の幸福度チェックリスト付き。

読売新聞 2024/08/25

2024:5./ 371p,27p  
978-4-86313-613-7

¥2,420〔税込〕



9 78 4863 136137



### 少女人身売買と性被害～「強制売春させられるネパールとインドの少女たち」その痛みと回復の試み～

長谷川まり子 著  
泉町書房

年間約 7000 人が性産業へ人身売買されている。日本・インド・ネパールの、NPO・NGO の連携による、深刻な傷を負った女性たちの救出とケア、被害予防のルポ。2007 年刊「少女売買」の続編。

読売新聞 2024/08/25

2024:6./ 237p  
978-4-910457-05-5

¥1,980〔税込〕



9 78 4910 457055



### 晩年(岩波文庫 緑 90-8)

太宰 治 著  
岩波書店

作家・太宰治の誕生を告げる最初の小説集にして「唯一の遺著」。まるで散文詩のような「葉」、<自意識过剩の饒舌体>の嚆矢たる「道化の華」など、日本近代文学の一つの到達点を、安藤宏による丁寧な注と共に収録する。

日本経済新聞 2024/08/03

2024:6./ 446p  
978-4-00-310908-3

¥1,133〔税込〕



9 78 4003 109083

### 人間の条件<上>(岩波現代文庫 文芸 87)

五味川 純平 著  
岩波書店

棉のような雪が静かに舞い降りる宵闇、1943 年の満洲で梶と美千子の愛の物語がはじまる。植民地に生きる日本知識人の苦悶、良心と恐怖の葛藤、軍隊での暴力と屈辱、すべての愛と希望を濁流のように押し流す戦争……

日本経済新聞 2024/08/03

2005:1./ 590p  
978-4-00-602087-3

¥1,650〔税込〕



9 78 4006 020873



**人間の条件<中>(岩波現代文庫 文芸 88)**

五味川 純平 著  
岩波書店

中国人労務者斬首に抗議した梶は憲兵隊に捕われ、召集免除の特典を取り消された。軍隊内の過酷な秩序、初年兵に対する一方的な暴力、病院を出た梶はソ満国境に転戦、蝸壺に立てこもる日本兵にソ連戦車隊の轟音が迫る……

日本経済新聞 2024/08/03

2005:2./ 646p  
978-4-00-602088-0

¥1,650〔税込〕



**人間の条件<下>(岩波現代文庫 文芸 89)**

五味川 純平 著  
岩波書店

ソ連戦車隊と夥しい歩兵が、国境線を越えた。蝸壺にこもり、迎え撃つ梶たちの中隊は数人を残して壊滅。捕虜となるが脱走し、遮る物とてない曠野を彷徨する梶の上に雪は無心に舞い続ける……

日本経済新聞 2024/08/03

2005:3./ 604p  
978-4-00-602089-7

¥1,760〔税込〕



**地球上の中華料理店をめぐる冒険〜5大陸 15カ国「中国人ディアスポラ」たちの物語〜**

関 卓中 著  
講談社

中国系移民が新天地に溶け込むいちばんの近道は中華料理店をひらくこと。彼らが作る料理は、世界各国の味と文化の影響を受けて変化している。地球のそこかしこに根を張った中華料理店オーナーたちの物語。

日本経済新聞 2024/08/03

2024:6./ 441p  
978-4-06-535382-0

¥2,200〔税込〕



**四郎の城〜キリシタン戦記〜(集英社文庫 歴史時代 は 59-1)**

袴田 康子 著  
集英社

幕府のキリシタン弾圧と、領主からの搾取にあえぐ天草と島原の民。四郎は民のリーダー小左衛門から、共に蜂起しようと説かれるが…。丹念な取材をベースに、天草四郎を生身の少年としてその内面に寄り添い描いた歴史小説。

日本経済新聞 2024/08/03

2024:7./ 375p  
978-4-08-744677-7

¥880〔税込〕



**王妃の離婚(集英社文庫)**

佐藤 賢一 著  
集英社

1498年フランス。国王が王妃に対して離婚裁判を起こした。田舎弁護士フランソワは、その不正な裁判に義憤にかられ、孤立無援の王妃の弁護を引き受ける……。第121回直木賞受賞作。

日本経済新聞 2024/08/03

2002:5./ 429p





**破獄 改版(新潮文庫 よ-5-21)**

吉村 昭 著  
新潮社  
日本経済新聞 2024/08/03

2011:11./ 442p  
978-4-10-111721-8  
¥880〔税込〕



**海の都の物語～ヴェネツィア共和国の一千年～<1>(新潮文庫)**

塩野 七生 著  
新潮社  
日本経済新聞 2024/08/03

2009:5./ 235p  
978-4-10-118132-5  
¥539〔税込〕



**人口と日本経済～長寿、イノベーション、経済成長～(中公新書 2388)**

吉川 洋 著  
中央公論新社  
人口減少が進む日本。財政赤字は拡大の一途をたどっているが、「日本の衰退は不可避」との思い込みに対し、経済学は「否」と答える。日本に蔓延する「人口減少ペニミズム(悲観論)」を排し、日本経済の本当の課題に迫る。

2016:8./ 3p,198p  
978-4-12-102388-9  
¥836〔税込〕



日本経済新聞 2024/08/03



**「和歌所」の鎌倉時代～勅撰集はいかに編纂され、なぜ続いたか～(NHK ブックス 1285)**

小川 剛生 著  
NHK出版  
天皇の命を受けて編纂され、乱世のなか 500 年以上にわたって生み出されてきた勅撰和歌集。鎌倉時代の勅撰集がいかに編纂されたかを、新史料も交えてつぶさに描き出し、和歌と政治の相互補完関係を探る。

2024:6./ 318p  
978-4-14-091285-0  
¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2024/08/03



**竜馬がゆく<1>(文春文庫)**

司馬 遼太郎 著  
文芸春秋  
青春小説の名作が読みやすくなって再登場。前半は、奥手だった幼年期から、剣術修行、脱藩、勝海舟との出会いと海軍塾設立までを描く

1998:9./ 446p  
978-4-16-710567-9  
¥869〔税込〕



日本経済新聞 2024/08/03



**20 世紀経済史～ユートピアへの緩慢な歩み～<上>**

ブラッドフォード・デロング 著  
日経BP社  
歴史上初めて経済が主役になり、政府が市場の管理に失敗、独裁政治が増殖した 20 世紀。グローバル化する世界、第一次世界大戦、大恐慌…。1870 年から 2010 年までの「長い 20 世紀」を、経済を主軸として描く。

2024:6./ 342p  
978-4-296-00130-9  
¥3,520〔税込〕



日本経済新聞 2024/08/03



### 20世紀経済史～ユートピアへの緩慢な歩み～<下>

ブラッドフォード・デロング 著

日経BP社

歴史上初めて経済が主役になり、政府が市場の管理に失敗、独裁政治が増殖した20世紀。社会民主主義の栄光の30年、新自由主義への転回…。1870年から2010年までの「長い20世紀」を、経済を軸として描く。

日本経済新聞 2024/08/03

2024:6./ 362p  
978-4-296-00201-6

¥3,520〔税込〕



### 教育の超・人類史～サピエンス登場から未来のシナリオまで～

ジャック アタリ 著

大和書房

種の保存のための知識を伝承してきた有史以前。一神教が知を独占してきた14世紀まで。活版印刷と宗教改革、そして産業革命と戦争で知の底上げがはかられた現代。欧州の「知の巨人」が、教育の歴史から未来を予測する。

日本経済新聞 2024/08/03

2024:6./ 492p  
978-4-479-79809-5

¥3,300〔税込〕



### 崖っぷちだったアメリカ任天堂を復活させた男

レジー・フィサメイ 著

東洋経済新報社

ハイチ移民の子として生まれ、DSやWii、Switchを世界市場に送り出したアメリカ任天堂の元社長兼COOのレジー・フィサメイ。その人生と、35年のキャリアで学んだ教訓・哲学を語る。

日本経済新聞 2024/08/03

2024:6./ 286p  
978-4-492-50355-3

¥1,980〔税込〕



### ヴィクトリア朝英国の鉄道旅行史

スーザン・メジャー 著

原書房

1830年代に初の周遊列車のポスターが貼られてから、鉄道網の発達とともに列車による一般市民の大量移動時代が始まる。ヴィクトリア朝英国の鉄道旅行の熱狂ぶりから実情まで史料をつぶさに紐解く。

日本経済新聞 2024/08/03

2024:7./ 325p  
978-4-562-07429-7

¥3,300〔税込〕



### 林達夫のドラマトゥルギー～演技する反語的精神～

鷺巣 力 著

平凡社

戦前・戦後を通じ、岩波書店、中央公論社、角川書店、平凡社などの編集者として反戦と自由主義を貫き、時代の言説を編み続けた知識人・林達夫。戦前の時代と似てきた今、若い人に向けてその生涯と活動の軌跡を紹介する。

日本経済新聞 2024/08/03

2024:6./ 394p  
978-4-582-83963-0

¥4,180〔税込〕





### 偶然と必然～現代生物学の思想的な問いかけ～

ジャック・リュイシアン・モノー 著

みすず書房

生命・生物とは何か、を偶然から必然へという宇宙の過程より論じた生物学への思想的問いかけ。

日本経済新聞 2024/08/03

1982:12./ 258p



### 数学思考のエッセンス～実装するための12講～

オリヴァー・ジョンソン 著

みすず書房

フェルミ推定、ベイズの定理、ゲーム理論…。株価の値動きやコロナ・ワクチンの効果測定など身近な問いをもとに、数式をほとんど使わずに、数学者や統計学者の考え方の勘どころを伝授する実用的数学入門。

日本経済新聞 2024/08/03

2024:6./ 324p,6p

978-4-622-09707-5

¥3,960 [税込]



### 検証学徒出陣(歴史文化ライブラリー 603)

西山 伸 著

吉川弘文館

アジア・太平洋戦争終盤、戦場へ送られた多くの学生・学徒たち。近年の実態調査を生かし、「特権」縮小や1943年夏の大量動員、徴集延期停止、特攻など「学徒出陣」の真実に迫り、遺稿集が語り継ぐ戦後についても論考する。

日本経済新聞 2024/08/03

2024:8./ 7p,214p

978-4-642-30603-4

¥1,870 [税込]



### カマヤンの日本一めんどうさい釜ヶ崎まちづくり絵日記

ありむら 潜 著

明石書店

大阪・釜ヶ崎に生きるおっちゃん・カマヤンを主人公にした4コマ漫画と、著者が関わるまちづくりに関するエッセイを収録。変遷する町を50年間見つめてきた記録。『福祉のひろば』など掲載を書籍化。

日本経済新聞 2024/08/03

2024:6./ 309p

978-4-7503-5756-0

¥3,080 [税込]



### 大聖堂<上>(SB文庫)

ケン・フォレット 著

S Bクリエイティブ

12世紀のイングランド。放浪の建築職人トムは、衰退した壮麗な大聖堂復活をめぐる波瀾万丈のドラマに巻き込まれていく……折り返しも、イングランドに内乱の危機が!

日本経済新聞 2024/08/03

2005:12./ 600p

978-4-7973-3256-8

¥937 [税込]





### 大聖堂<中>(SB 文庫)

ケン・フォレット 著  
S Bクリエイティブ

キングズブリッジ修道院長から命じられ、トムは本格的に大聖堂の再建に乗りだす。が、キングズブリッジの繁栄をねたむ男が焼き討ちを仕掛ける……

2005:12./ 592p  
978-4-7973-3257-5

¥932〔税込〕



日本経済新聞 2024/08/03



### 大聖堂<下>(SB 文庫)

ケン・フォレット 著  
S Bクリエイティブ

トムの死後、大聖堂再建を引き継いだ息子のアルフレッドだが、大聖堂が崩壊してしまう。そこへ、ヨーロッパを放浪して修行中だったトムの弟子のジャックが帰還し、大聖堂に新たな光が……

2005:12./ 632p  
978-4-7973-3258-2

¥942〔税込〕



日本経済新聞 2024/08/03



### 名画の力(光文社新書 1322)

宮下規久朗 著  
光文社

名画の力は、現場で作品に向き合ったときこそ発揮される。伝統の力から現代美術、美術館まで、7つのテーマで美術の魅力を綴った極上の美術史エッセイ。図版も多数収録する。『産経新聞』ほか掲載を加筆し新書化。

2024:7./ 242p  
978-4-334-10378-1

¥1,320〔税込〕



日本経済新聞 2024/08/03、産経新聞 2024/08/18



### グリーン戦争〜気候変動の国際政治〜(中公新書 2807)

上野貴弘 著  
中央公論新社

米国が脱退し、新興国が条件闘争をはじめ、動揺しているパリ協定。米国、欧州、新興国の利害が錯綜する政治力学を、産業、貿易、金融、エネルギーの観点から説明し、気候変動の解決を目指して世界と日本が進むべき道を考える。

2024:6./ 6p,301p  
978-4-12-102807-5

¥1,265〔税込〕



日本経済新聞 2024/08/03、東京・中日新聞 2024/08/11



### 独裁が生まれた日〜習近平と虚構の時代〜

大熊 雄一郎 著  
白水社

独裁者に墨をかけた日、自由主義新聞が死んだ日、ゼロコロナが崩壊した日…。ポーロン・上田賞受賞記者が、中国で新たな独裁が生まれる節目と感じた日や出来事に焦点を当て、権力がなげない日常を侵していくプロセスを綴る。

2024:5./ 254p  
978-4-560-09291-0

¥2,750〔税込〕



日本経済新聞 2024/08/03、読売新聞 2024/08/25



### 月ぬ走いや、馬ぬ走い

豊永 浩平 著  
講談社

先祖の魂が還ってくる盆の中、幼い少年と少女の前に、78年前に死んだ日本兵の亡霊が現れ…。沖縄に深く堆積したコトバの地層を掘り返し、数世代にわたる性と暴力の営みを描く。『群像』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2024/08/10

2024:7./ 153p  
978-4-06-536372-0

¥1,650 [税込]



### 予告された殺人の記録(新潮文庫)

ガブリエル・ガルシア＝マルケス 著  
新潮社

町をあげての婚礼騒ぎの翌朝、充分すぎる犯行予告にもかかわらず、なぜ彼は滅多切りにされねばならなかったのか?閉鎖的な田舎町でほぼ30年前に起きた、幻想とも見紛う殺人事件。

日本経済新聞 2024/08/10

1997:12./ 160p  
978-4-10-205211-2

¥649 [税込]



### 百年の孤独(新潮文庫 カ-24-2)

ガブリエル・ガルシア＝マルケス 著  
新潮社

蜃気楼の村マコンドを開墾しながら、愛なき世界を生きる孤独な一族の百年の物語。目も眩むような不思議な出来事が続き、予言者が書き残した謎が解読された時、一族の波乱の歴史は劇的な最後を迎え…。20世紀文学の傑作。

日本経済新聞 2024/08/10

2024:7./ 661p  
978-4-10-205212-9

¥1,375 [税込]



### 冷戦後の日本外交(新潮選書)

高村 正彦/兼原 信克/川島 真/竹中 治堅/細谷 雄一 著  
新潮社

外交の失敗は一国を滅ぼす。冷戦後の日本外交に大きな足跡を残した政治家・高村正彦。自衛隊の海外派遣から、強大化する中国との関係、アジアの民主化、集団的自衛権の一部容認まで、危機の時代の外交の舞台裏を語る。

日本経済新聞 2024/08/10

2024:6./ 203p  
978-4-10-603912-6

¥1,705 [税込]



### OSO18を追え～“怪物ヒグマ”との闘い 560日～

藤本 靖 著  
文藝春秋

2019年夏、北海道東部に突如現れた、未知の食性を持つ怪物ヒグマ<OSO18>。北海道を震撼させた謎のヒグマと人との執念の攻防戦を、対策班リーダーが克明に記す。

日本経済新聞 2024/08/10

2024:7./ 218p  
978-4-16-391872-3

¥1,870 [税込]





**海がきこえる 新装版(徳間文庫 トクマの特選! ひ 15-3)**

氷室冴子 著  
徳間書店

大学進学で高知から上京した拓は、高校時代の転校生・里伽子が東京に戻った事を知る。気まぐれな美少女に翻弄されながら、その孤独に耳を澄ました短い日々を回想する拓に、再会の機会が訪れ…。近藤勝也のカラーイラスト付き。

日本経済新聞 2024/08/10

2022:7./ 323p  
978-4-19-894759-0

¥880〔税込〕



**弱い円の正体 仮面の黒字国・日本(日経プレミアシリーズ 515)**

唐鎌大輔 著  
日経BP社

経常収支黒字国や対外純資産国というステータスは円の強さを担保する「仮面」。実情は、CFが流出していたり、外貨のまま戻らなかったり…。「仮面の黒字国」日本の、統計上の数字からだけでは見えてこない「正体」に迫る。

日本経済新聞 2024/08/10

2024:7./ 342p  
978-4-296-12034-5

¥1,100〔税込〕



**量子コンピュータが本当にわかる!～第一線開発者がやさしく明かすしくみと可能性～**

武田俊太郎 著  
技術評論社

量子コンピュータの実体を、実際に開発している立場からわかりやすく解説。量子コンピュータの計算の仕組み、装置のリアルな様子、開発現場の雰囲気などを伝える。

日本経済新聞 2024/08/10

2020:2./ 286p  
978-4-297-11135-9

¥2,068〔税込〕



**ガルシア=マルケス中短篇傑作選(河出文庫 マ 11-1)**

ガブリエル・ガルシア=マルケス 著  
河出書房新社

世界文学の最高峰が生みだした永遠の傑作たち。「大佐に手紙は来ない」「純真なエレンディアと邪悪な祖母の信じがたくも痛ましい物語」など、多面的な魅力を凝縮した新訳アンソロジー。

日本経済新聞 2024/08/10

2022:7./ 322p  
978-4-309-46754-2

¥1,320〔税込〕



**「ふつうの暮らし」を美学する～家から考える「日常美学」入門～(光文社新書 1317)**

青田麻未 著  
光文社

日々の暮らしを支える活動やモノを通じて「美」を捉える「日常美学」の入門書。椅子、掃除と片付け、料理、地元、ルーティーンなどの具体例を通じて、若手美学者が冴えわたる感性で切り込み、感性と世界を見つめ直す。

日本経済新聞 2024/08/10

2024:6./ 285p  
978-4-334-10353-8

¥990〔税込〕



エレンディラ(ちくま文庫)

ガブリエル・ガルシア・マルケス 著  
筑摩書房  
日本経済新聞 2024/08/10

1988:12./ 205p  
978-4-480-02277-6  
¥638 [税込]



パレスチナ詩集(ちくま文庫 た 103-1)

マフムード・ダルウィーシュ/四方田 犬彦 著  
筑摩書房  
世界の果てに辿り着いたとき、われらはどこへ行けばよいのか。最後の空が終わったとき、鳥はどこで飛べばよいのか-。パレスチナに生まれ、亡命を生きた大詩人の、生涯を懸けた絶唱。

2024:7./ 204p  
978-4-480-43953-6  
¥1,540 [税込]



日本経済新聞 2024/08/10



学校行きたくない～不登校とどう向き合うか～(平凡社新書 1058)

榎本 博明 著  
平凡社

学校の魅力の低下、個性重視の風潮、文科省の不登校に対する立場の変化…。年々増え続ける不登校の実態や背景にある心理メカニズムを探り、その理解や支援のために何が必要かを考える。

2024:5./ 227p  
978-4-582-86058-0  
¥1,100 [税込]



日本経済新聞 2024/08/10



北里柴三郎と感染症の時代～ハンセン病、ペスト、インフルエンザを中心に～

新村 拓 著  
法政大学出版局

近代日本医学の父、北里柴三郎。慢性伝染病であるハンセン病と結核、急性伝染病であるペストとインフルエンザなどに対し、北里および研究所員らがいかに向き合い、新たな知を発見しようと努めたか、そのプロセスを追いかける。

2024:5./ 265p,9p  
978-4-588-31216-8  
¥3,520 [税込]



日本経済新聞 2024/08/10



量子力学の100年

佐藤文隆 著  
青土社

2025年に誕生から1世紀を迎える量子力学。「合意のないまま」いまやあらゆる場所に存在する量子力学を自らの目で見えてきた第一人者が、その不思議と魅力に迫る。『現代思想』連載を加筆し書籍化。

2024:3./ 229p  
978-4-7917-7634-4  
¥2,420 [税込]



日本経済新聞 2024/08/10



### なぜ人はアートを楽しむように進化したのか

アンジャン・チャタジー 著  
草思社

人は「アート」を生み出す本能を予め持ち、進化してきたのか。脳科学、神経科学、進化心理学等の見地から、さまざまな美を考察し、人が生きるうえで美がどのような役割を果たし、人がアートを愛するに至るのかを明らかにする。

日本経済新聞 2024/08/10

2024:6./ 346p  
978-4-7942-2733-1

¥2,970〔税込〕



### 量子力学で生命の謎を解く

ジム・アル=カーリー、ジョンジョー・マクファデン 著  
SBクリエイティブ

呼吸、光合成、嗅覚、磁気感覚…。生命の秘密は、量子の世界に隠されていた!英国の気鋭の研究者二人が、量子力学を使って生命現象の謎を解き明かす「量子生物学」の最新の成果と可能性を、豊富な実例を通して明らかにする。

日本経済新聞 2024/08/10

2015:9./ 9p,396p  
978-4-7973-8436-9

¥2,640〔税込〕



### 勝者の科学～一流になる人とチームの法則～

マシュー・サイド、永盛 鷹司 著  
ディスカヴァー・トゥエンティワン

生まれながらにして頂点に立つ者はいない。才能を開花させ、最高峰の成果を残す、人とチームの行動・思考・決断力とは。ベストセラー英国ジャーナリストが、トップアスリートや常勝チームを生み出す方程式を解き明かす。

日本経済新聞 2024/08/10

2024:6./ 382p  
978-4-7993-3056-2

¥2,530〔税込〕



### ゴーイング・メインストリーム～過激主義が主流になる日～

ユリア・エブナー、西川 美樹 著  
左右社

トランプ信奉、気候変動懐疑論、反ワクチン、ミソジニー…。彼らはネットワークを駆使して連帯し、現実世界へと暴力を持ち込む。研究者・ジャーナリストの著者が、大衆化した過激主義の現状を、潜入捜査で解き明かす。

日本経済新聞 2024/08/10

2024:6./ 365p,32p  
978-4-86528-416-4

¥2,640〔税込〕



### 『百年の孤独』を代わりに読む(ハヤカワ文庫 NF 610)

友田 とん 著  
早川書房

ガルシア=マルケス「百年の孤独」を読者の代わりに読む「私」。ところがすぐに脱線し始める。ドラゴンクエストⅢなど、様々な記憶がマコンドの出来事と混ざり合い、いつしか読むことの正体に近づき…。自主制作本を加筆修正。

日本経済新聞 2024/08/10、東京・中日新聞 2024/08/24

2024:6./ 361p  
978-4-15-050610-0

¥1,298〔税込〕





## 約束

デイモン・ガルガット 著

早川書房

アパートヘイト以前、以後-社会変革の渦中で激動する南アフリカ。プレトリアで農場を営む白人のスワート一家とその黒人メイドとの間に交わされた土地の所有をめぐる約束が、30年以上にわたり一家の運命を翻弄し…。

日本経済新聞 2024/08/10、毎日新聞 2024/08/24

2024:6./ 329p  
978-4-15-210339-0

¥3,410〔税込〕



## 言志四録<1> 言志録(講談社学術文庫)

佐藤 一斎／川上 正光 著

講談社

本書は、江戸時代後期の林家の儒者佐藤一斎の、42歳から80歳にかけての、前後40年にわたる思索の賜物と言われる「言志四録」のうち、その第1巻たる「言志録」をを上梓するものである。

日本経済新聞 2024/08/17

1979:1./ 295p  
978-4-06-158274-3

¥1,265〔税込〕



## 創価学会～現代日本の模倣国家～(講談社選書メチエ 811)

レヴィ・マクローリン 著

講談社

創価学会の信者として生きるとは、どういうことか。彼らはなぜ、いかにして、池田大作の言動を聖典としてきたのか。創価学会員コミュニティに分け入ったフィールドワークの成果と、文献資料の綿密な理論的分析をまとめる。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:7./ 349p  
978-4-06-526854-4

¥2,585〔税込〕



## じんかん(講談社文庫 い 148-3)

今村 翔吾 著

講談社

天正5年のある晩、織田信長のもとへ急報が。信長に忠誠を尽くしていたはずの松永久秀が2度目の謀叛を企てたという。だが、意外にも信長は笑みを浮かべ、語り出したのは…。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:4./ 580p  
978-4-06-535015-7

¥1,144〔税込〕



## 働くということ～「能力主義」を超えて～(集英社新書 1219)

勅使川原 真衣 著

集英社

他者と働くことは、なぜ難しいのか。教育社会学の知見や現場でのエピソードをもとに、職場や学校で個人に生きづらさをもたらす「選び」「選ばれる」能力主義に疑問を呈し、人と人との関係を捉え直す新たな組織論の地平を示す。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:6./ 258p  
978-4-08-721319-5

¥1,078〔税込〕





### ブレグジットの日に少女は死んだ(小学館文庫 ク 10-1)

イライザ・クラーク 著  
小学館

EU 離脱を問う国民投票の日。16歳の少女が暴行、焼殺された。犯人は同級生の少女3人。ジャーナリストのカレリは背景を取材し、彼女らの生い立ちから事件までのノンフィクションを発表したが、本は回収されてしまい…。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:7./ 565p  
978-4-09-407296-9

¥1,408 [税込]



### 楽園のキャンヴァス(新潮文庫 は-63-1)

原田 マハ 著  
新潮社

ニューヨーク近代美術館の学芸員ティムは、スイスの大邸宅で巨匠アンリ・ルソーの大作「夢」とそっくりな絵を目にした。ティムは絵の真贋をめぐって、日本人研究者の早川織絵と火花を散らす。

日本経済新聞 2024/08/17

2014:7./ 440p  
978-4-10-125961-1

¥880 [税込]



### 文明の生態史観 増補新版(中公文庫 う 15-16)

梅棹忠夫 著  
中央公論新社

1955年、京都大学の学術探検隊に同行し、西アジア諸国を歴訪した体験から、対立ではなく平行進化として東西の近代化を捉え、<中洋>を提唱する。著者の到達点を示す「海と日本文明」(2000年)を増補し文庫化。

日本経済新聞 2024/08/17

2023:10./ 396p  
978-4-12-207426-2

¥1,320 [税込]



### WAYS OF BEING 人間以外の知性

ジェームズ・ブライドル 著  
早川書房

知能は人間の独占物ではない。自動運転車もチンパンジーもタコも木も菌類も、独自のあり方で知的といえる。それらが体感する「世界」とは? 自然・テクノロジー・人類の新たな生態学。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:5./ 495p  
978-4-15-210333-8

¥4,290 [税込]



### ハヤブサを盗んだ男～野鳥闇取引に隠されたドラマ～

ジョシュア・ハマー 著  
紀伊國屋書店出版部

英国の空港で、ハヤブサの卵を持ち出そうとした男が捕らえられる。取り調べをするのは、絶滅危惧種の密輸撲滅を目指す英国野生生物犯罪部の捜査官で…。ハヤブサ泥棒の足跡を辿った国際ジャーナリストによるノンフィクション。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:6./ 362p  
978-4-314-01206-5

¥2,750 [税込]





### 家の哲学〜家空間と幸福〜

エマヌエーレ・コッチャ 著

勁草書房

家は「雨風を防ぐもの」でも「所有された空間」でもなく、わたしのメタモルフォーゼが繰り返される、幸福の実験場である。「生」の変様を記述する哲学者が、哲学的に家を論じる。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:6./ 188p  
978-4-326-15488-3

¥2,750〔税込〕



### 日本の政策はなぜ機能しないのか?〜EBPMの導入と課題〜(光文社新書 1320)

杉谷和哉 著

光文社

データやファクトに基づき政策を作り、適切に評価する。当たり前のことのように、難しいのはなぜか。その背景を公共政策学の知見から分析し、「政策の合理化」を機能させる条件を考察する。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:7./ 225p  
978-4-334-10376-7

¥924〔税込〕



### ロンドン狂瀾<上>(光文社文庫 な 45-1)

中路 啓太 著

光文社

1930年1月、ロンドン海軍軍縮会議が始まろうとしている。首席全権の若槻礼次郎らと日本を放立つ、外務省情報部長の雑賀潤。だが欧米列強との外交交渉は難航の連続。熾烈を極める状況の先に、雑賀は光明を見出させるか!?

日本経済新聞 2024/08/17

2018:3./ 458p  
978-4-334-77614-5

¥814〔税込〕



### ロンドン狂瀾<下>(光文社文庫 な 45-2)

中路 啓太 著

光文社

ロンドンでの難交渉を終え、帰国した全権団。だが条約の内容を受け入れられない海軍軍司令部は統帥権の独立を盾に批准に反抗。条約破棄を阻止するため、雑賀らは、軍人、枢密院、輿論に対して瀬戸際の攻防で対峙する-

日本経済新聞 2024/08/17

2018:3./ 324p  
978-4-334-77615-2

¥704〔税込〕



### 銀河英雄伝説<1> 黎明篇(創元 SF 文庫)

田中芳樹 著

東京創元社

銀河系に一大王朝を築きあげた帝国と、民主主義を掲げる自由惑星同盟が繰り広げる飽くなき闘争のなか、若き帝国の将“常勝の天才”ラインハルト・フォン・ローエングラムと、同盟が誇る不世出の軍略家“不敗の魔術師”ヤン・ウェンリーは相まみえた。

日本経済新聞 2024/08/17

2007:2./ 376p  
978-4-488-72501-3

¥880〔税込〕





## 2040年半導体の未来～AI・量子コンピューティング時代!半導体(b)+量子(q)=次世代計算基盤で日本経済は再び成長する～

小柴 満信 著  
東洋経済新報社

なぜ半導体が注目されるようになったのか。世界を巻き込む事情とは何か。その中であって、日本はどう進むべきか。半導体開発競争の先にある未来のテクノロジーとは何か。半導体業界のキーマンが、日本再生戦略を提言する。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:7./ 233p  
978-4-492-50354-6

¥1,980〔税込〕



9 78 44 92 50 35 46



## 奇跡の人(双葉文庫 は-26-02)

原田 マハ 著  
双葉社

時は明治、青森県弘前。「盲目で、耳が聞こえず、口も利けない」少女のため、アメリカ帰りの旧幕臣の娘・安が教育係として招かれた。ふたりは苦難の道をゆく....

日本経済新聞 2024/08/17

2018:1./ 430p  
978-4-575-52071-2

¥794〔税込〕



9 78 45 75 52 07 12



## 日本の台所とキッチン—100年物語

阿古 真理 著  
平凡社

100年前の「台所改善運動」、戦後のシステムキッチンへの移行を経て、日本の台所はどのように進化/変化し続けてきたのか? 日本人の台所と暮らしの100年の変遷を辿る。不動産屋、歴史学者との対談も収録。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:6./ 379p  
978-4-582-54479-4

¥3,520〔税込〕



9 78 45 82 54 47 94



## ビッグヒストリー～われわれはどこから来て、どこへ行くのか～

デヴィッド・クリスチャン、シンシア・ストークス・ブラウン、クレイグ・ベンジャミン、長沼 毅、石井 克弥、竹田 純子、中川 泉 著  
明石書店

自然科学と人文社会学が融合したビッグヒストリーのテキスト。最新の科学の成果に基づいて138億年前のビッグバンから未来にわたる長大な時間の中に「人間」の歴史を位置づけ、「8つのスレッシュホールド」を軸に読み解く。

日本経済新聞 2024/08/17

2016:11./ 19p,400p  
978-4-7503-4421-8

¥4,070〔税込〕



9 78 47 50 34 42 18



## 家から5分の旅館に泊まる

スズキナオ 著  
太田出版

行き先は何も遠い地に限らない。近所の旅館やビジネスホテルにも、知らない世界が広がっている。元気がないときこそどこかへ行きたくなる著者の旅の歩みを綴る。

『OHTABOOKSTAND』連載を大幅に加筆修正。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:7./ 337p  
978-4-7783-1960-1

¥2,090〔税込〕



9 78 47 78 31 96 01



### 炎の陽明学～山田方谷伝～

矢吹 邦彦 著  
明德出版社

吉宗・鷹山の改革を凌ぐ見事な藩政改革を行った方谷。実は彼こそ大政奉還上奏文の起草者でもあった。信念を貫いた生涯、知られざる家庭生活と苦悩等、勝者の歴史に忘れられた人間方谷の光と陰を余すことなく描いた感動の力作。

日本経済新聞 2024/08/17

1996:3./ 443p  
978-4-89619-128-8

¥3,630〔税込〕



### 朝鮮植民地戦争～甲午農民戦争から関東大震災まで～(問いつづける民衆史 1)

慎 蒼宇 著  
有志舎

主に甲午農民戦争、日露戦争、義兵戦争、三・一独立運動、間島虐殺、関東大震災時の朝鮮人虐殺を取り上げ、官憲の記録、新聞・ルポ、裁判記録などを通じて、朝鮮植民地戦争の現場を生きた「民衆」の姿を明らかにする。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:7./ 430p  
978-4-908672-76-7

¥3,960〔税込〕



### 図鑑モノから読み解く王朝絵巻<第1巻> 源氏物語絵巻の世界

倉田 実 著  
花鳥社

主に平安時代の絵巻物に描かれている人物・事物の名称がわかる図鑑。第1巻は、「源氏物語絵巻」「紫式部日記絵巻」を読み解く。詞書の現代語訳、絵索引も収録。三省堂 HP『ワードワイズ・ウェブ』連載をもとに書籍化。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:4./ 277p,21p  
978-4-909832-96-2

¥2,750〔税込〕



### 図鑑モノから読み解く王朝絵巻<第2巻> 寝殿造の仕組みと宮中の行事

倉田 実 著  
花鳥社

主に平安時代の絵巻物に描かれている人物・事物の名称がわかる図鑑。第2巻は、寝殿造の構造、大内裏・内裏の行事を読み解く。詞書の現代語訳、絵索引も収録。三省堂 HP『ワードワイズ・ウェブ』連載をもとに書籍化。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:6./ 349p,43p  
978-4-909832-97-9

¥3,740〔税込〕



### 図鑑モノから読み解く王朝絵巻<第3巻> 平安時代の信仰と暮らし

倉田 実 著  
花鳥社

主に平安時代の絵巻物に描かれている人物・事物の名称がわかる図鑑。第3巻は、祭礼、信仰の旅、庶民の暮らしと遊びなどを読み解く。詞書の現代語訳、絵索引も収録。三省堂 HP『ワードワイズ・ウェブ』連載をもとに書籍化。

日本経済新聞 2024/08/17

2024:7./ 279p,65p  
978-4-909832-98-6

¥3,300〔税込〕





### 陥穽～陸奥宗光の青春～

辻原登 著

日経BP社

陸奥宗光は勝海舟の海軍塾に学び、坂本龍馬の海援隊へ。しかし維新後、陸奥は新政府内で苦境に立つ。西郷の蜂起を千載一遇の好機と捉えた陸奥は、身の破滅に向かって最初の一步を踏み出し…。『日本経済新聞』連載を単行本化。

日本経済新聞 2024/08/17、東京・中日新聞 2024/08/18

2024:7./ 559p  
978-4-296-12016-1

¥2,970〔税込〕



### ミチノオク

佐伯 一麦 著

新潮社

故郷東北を再発見する旅で私小説作家が会う、天変地異の歴史と、そこで生きる人の心のオク。様々な人生の曲折を描く小説集。「西馬音内」「貞山堀」「飛鳥」など、全9編を収録。『新潮』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2024/08/17、毎日新聞 2024/08/17

2024:6./ 263p  
978-4-10-381406-1

¥2,420〔税込〕



### 博学者～知の巨人たちの歴史～

ピーター・バーク、井山 弘幸 著

左右社

博学者とは如何なる存在か。哲学という語を創造した最古の博学者ピュタゴラス、万能なのにいつも仕事は未完のレオナルド・ダ・ヴィンチ、あらゆる知識に通じた修道女フアナ…。知ることに取り憑かれた者たちの歴史を描く。

日本経済新聞 2024/08/17、毎日新聞 2024/08/17

2024:7./ 391p,87p  
978-4-86528-422-5

¥4,950〔税込〕



### 環境とビジネス～世界で進む「環境経営」を知ろう～(岩波新書 新赤版 2022)

白井 さゆり 著

岩波書店

サステナブルな未来のために-。気候変動を含む環境問題について、国内外で研究・執筆を行っている著者が、世界が具体的にどこへ向かうのか、企業が今後何をしたらよいか、「環境とビジネス」という独自の観点から論じる。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:7./ 222p  
978-4-00-432022-7

¥1,012〔税込〕



### 猫語の教科書(KADOKAWA MASTERPIECE COMICS)

沙嶋 カタナ／ポール・ギャリコ 著

KADOKAWA

ある編集者の家に届けられた暗号のような原稿。相談を受けた作家ポール・ギャリコが解読すると、それは猫によって書かれた、猫のための“人間支配の教科書”だった！ポール・ギャリコ原作の同名作品を漫画化。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:7./ 277p  
978-4-04-605926-0

¥1,320〔税込〕





### 風の歌を聴け(講談社文庫)

村上 春樹 著  
講談社

1970年夏、あの日の風は、ものうく、ほろ苦く通りすぎていった。僕たちの夢は、もう戻りはしない。群像新人賞を受賞したデビュー作。

日本経済新聞 2024/08/24

2004:9./ 160p  
978-4-06-274870-4

¥594〔税込〕



### ひだりポケットの三日月

三上 大進 著  
講談社

障害のある左手と、やり場のない気持ち。いつも受け入れてくれたのは「ひだりポケット」でした。元パラリンピックリポーターでスキンケア研究家が、自身が歩んできた道のりを振り返る。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:7./ 189p  
978-4-06-535102-4

¥1,540〔税込〕



### アフーマティブ・アクション〜平等への切り札か、逆差別か〜(中公新書 2811)

南川文里 著  
中央公論新社

入試や雇用・昇進に際して人種やジェンダーに配慮する取り組み、アフーマティブ・アクション(積極的差別是正措置)。その役割は終わったのか。アメリカの試行錯誤の歴史をたどり考察する。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:7./ 6p,232p  
978-4-12-102811-2

¥968〔税込〕



### 星影さやかに(文春文庫 ふ 51-1)

古内 一絵 著  
文藝春秋

非国民と呼ばれた父を恥じていた、軍国少年の息子に届いた遺品の日記。激動の昭和を生きた親子の記憶が紐解かれる。宮城県古川を舞台に描く、三世代をつなぐ家族小説。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:7./ 278p  
978-4-16-792250-4

¥858〔税込〕



### インベンス・ルービン統計的因果推論<上>

G.W.インベンス、D.B.ルービン 著  
朝倉書店

ノーベル経済学賞受賞のインベンスと第一人者ルービンによる統計的因果推論の基本書。上は、基礎的な考え方や枠組みを明らかにし、古典的無作為化実験への適用を示す。

日本経済新聞 2024/08/24

2023:7./ 320p  
978-4-254-12291-6

¥5,940〔税込〕





### インベンス・ルービン統計的因果推論<下>

G.W.インベンス、D.B.ルービン 著

朝倉書店

ノーベル経済学賞受賞のインベンスと第一人者ルービンによる統計的因果推論の基本書。下は、非交絡性、傾向スコア、割り当て非順守などの重要テーマについて論じる。

日本経済新聞 2024/08/24

2023:7./ 416p  
978-4-254-12292-3

¥6,930〔税込〕



### 医学研究のための因果推論レクチャー

杉山 雄大／後藤 温／井上 浩輔 著

医学書院

適切なリサーチクエスチョンを立て、実現可能性の高いデータソースを探し、因果推論を医学研究に適用するための実践的なプロセスを解説。『週刊医学界新聞』連載を加筆し書籍化。R コマンドを閲覧できる URL 付き。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:4./ 9p,179p  
978-4-260-05375-4

¥4,400〔税込〕



### 因果推論～基礎から機械学習・時系列解析・因果探索を用いた意思決定のアプローチ～

金本 拓 著

オーム社

因果推論の基本やビジネスケースでの活用方法を紹介するとともに、機械学習、時系列解析を図で構造的に解説。さらに、最適な分析を行い、より良い意思決定に導くための具体的なガイドライン(意思決定フロー)を提供する。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:3./ 12p,426p  
978-4-274-23123-0

¥4,620〔税込〕



### 1兆円を盗んだ男～仮想通貨帝国 FTX の崩壊～

マイケル・ルイス 著

日経 B P 社

暗号資産(仮想通貨)取引所 FTX の創業者サム・バンクマン・フリード。己のルールを信じて突き進み、巨額の富を集めた時代の寵児はいかにして破滅へと向かったのか。FTX 破綻の真相と謎に満ちた創業者の心の内を描く。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:6./ 366p  
978-4-296-11999-8

¥2,200〔税込〕



### 施策デザインのための機械学習入門～データ分析技術のビジネス活用における正しい考え方～

齋藤優太、安井翔太、株式会社ホクソエム（監修） 著

技術評論社

機械学習を活用したビジネス施策の実践に取り組む技術者に向けた指南書。実応用において機械学習を機能させるためにたどるべき手順をフレームワークとしてまとめ、厳選した問題設定にフレームワークを適用する流れを解説する。

日本経済新聞 2024/08/24

2021:8./ 24p,311p  
978-4-297-12224-9

¥3,278〔税込〕





### 等身大の定年後～お金・働き方・生きがい～(光文社新書 1319)

奥田祥子 著  
光文社

再雇用、転職、フリーランス、NPO 法人等での社会貢献活動…。セカンドキャリアを切り開くために孤軍奮闘しているシニアの男女への長期間に及ぶ継続インタビューをもとに、あるがままの<等身大>の定年後を浮き彫りにする。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:7./ 265p  
978-4-334-10375-0

¥968 [税込]



### 未来の食と環境を守れ～有機農家からの提案～

涌井義郎 著  
新日本出版社

危機にある日本の農と食。必要十分な国産の食料を得て、健全な環境に包まれて暮らせる社会をどうつくるか。打開のヒントを有機農業・環境再生農業に見だし、国がなすべきことを具体的に提案する。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:6./ 206p  
978-4-406-06804-8

¥1,980 [税込]



### 町内会～コミュニティからみる日本近代～(ちくま新書 1797)

玉野 和志 著  
筑摩書房

任意参加であるはずなのに、全戸加入が原則とされてきた住民組織「町内会」は、いつどのようにして生まれたのか。明治地方自治制、大衆民主化の時代から戦中・戦後まで、コミュニティの歴史を繙き、日本再生の手がかりを探る。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:6./ 186p  
978-4-480-07629-8

¥924 [税込]



### それでもなぜ、トランプは支持されるのか～アメリカ地殻変動の思想史～

会田 弘継 著  
東洋経済新報社

トランプはなぜ、またアメリカ大統領選に戻ってくるのか。トランプ現象の本質を最も早く見抜いたアメリカ・ウォッチャーの第一人者が、建国以来の保守思想を源流に遡りつつ、彼の強さの理由を探る。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:7./ 365p  
978-4-492-44482-5

¥2,640 [税込]



### いつか月夜

寺地 はるな 著  
角川春樹事務所

会員の實成は、父を亡くした後、得体のしれない不安にとり憑かれるようになった。特に夜に来るそいつを遠ざけるため、なにも考えずに夜道をひたすら歩く。やがて、「深夜の散歩」メンバーは何故か増えていき…。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:8./ 236p  
978-4-7584-1469-2

¥1,760 [税込]





### ナットとボルト～世界を変えた7つの小さな発明～

ロマ・アグラワル 著  
草思社

釘、車輪、ばね、磁石、レンズ、ひも、ポンプ。これらは原理自体は単純でも、歴史の発展に欠かせない。時計から人工心臓まで、小さくても劇的に人々の暮らしを変えた発明を、著者自身の体験とともに鮮やかに綴る。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:7./ 289p,36p  
978-4-7942-2725-6

¥2,860〔税込〕



9 784794 227256



### 日本統治下の台湾～開発・植民地主義・主体性～

平井 健介 著  
名古屋大学出版会

植民地における「近代化」とは何か。経済開発を軸として、社会の隅々にまで及んだ統治の実態と、環境の激変を生き抜く台湾人の主体性を同時に捉え、日本最初の植民地が経験した特異な「近代化」の全容と限界を描き出す。

日本経済新聞 2024/08/24

2024:6./ 386p  
978-4-8158-1158-7

¥3,960〔税込〕



9 784815 811587



### 文藝春秋と政権構想

鈴木 洋嗣 著  
講談社

異端の編集者は、あの日、あの夜、政権幹部と何を話していたのか？ 安倍晋三、菅義偉、梶山静六、細川護熙との関わりから綴る日本の政治経済裏面史。失われた30年を生んだ経済政策の検証と、今後の経済政策の提言も収録。

毎日新聞 2024/08/03

2024:7./ 231p  
978-4-06-536426-0

¥1,760〔税込〕



9 784065 364260



### 逃げて、逃げて、シェイクスピア～翻訳家・松岡和子の仕事～

草生 亜紀子 著  
新潮社

完訳を成し遂げた翻訳家の仕事と人生は、こんなにも密接につながっていた。日本女性としては初めて、シェイクスピアの戯曲 37 作を完全翻訳した著者が、仕事の流儀から生い立ちまで、すべてを明かす。

毎日新聞 2024/08/03

2024:4./ 221p  
978-4-10-464002-7

¥1,980〔税込〕



9 784104 640027



### めでたし、めでたし

大森兄弟 著  
中央公論新社

宝物の元の持ち主は名乗り出よ。鬼ヶ島から凱旋した桃次郎。宝を奪われた人々を国中から集めておきながら、一向に返す気配がなく…。「めでたし、めでたし」では終われないおとぎ話の結末は、犬、猿、雉に託された!?

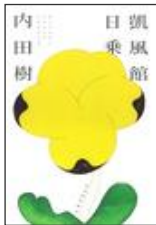
毎日新聞 2024/08/03

2024:7./ 190p  
978-4-12-005802-8

¥1,980〔税込〕



9 784120 058028



### 凱風館日乗

内田 樹 著  
河出書房新社

政治の腐敗、経済衰退、教育・医療の崩壊が止まらない現代。しかし私たちの足元には、未来の日本を再生させる可能性が溢れている。一步立ち止まることで見えてきた「街場の救国論」。

毎日新聞 2024/08/03

2024:5./ 213p  
978-4-309-23153-2

¥1,650〔税込〕



### 黴の生えた病棟で〜ルポ神出病院虐待事件〜

神戸新聞取材班 著  
毎日新聞出版

2020年3月、精神科病院「神出病院」の看護師らが患者への虐待容疑で逮捕された。彼らはなぜ卑劣な犯行に手を染めたのか。地元紙取材班が事件とその背景に迫る。『神戸新聞』掲載をもとに大幅に書き下ろしを加え再構成。

毎日新聞 2024/08/03

2024:6./ 243p  
978-4-620-32807-2

¥1,760〔税込〕



### ノット・ライク・ディス〜トランスジェンダーと身体哲学〜

藤高 和輝 著  
以文社

トランスジェンダーの身体経験の分析を通し、誰もが生きているこの「私の身体」とは何かを問いかける。「心身二元論」から発する「神話」を解体し、そのアポリアを問うとともに、オルタナティブな理論的枠組みの提示を試みる。

毎日新聞 2024/08/03

2024:5./ 4p,287p  
978-4-7531-0384-3

¥3,520〔税込〕



### 大地と星々のあいだで〜生き延びるための人類学的思考〜

橋爪太作 著  
イースト・プレス

世界の終わりとは始まりのキノコ、オントンジャワ海台...。3・11をきっかけにメラネシアに渡航し、祖先以前の大地と向き合う人々について思索を重ねてきた人類学者が、人類史を横断する「人間以前のもの」の痕跡を辿る。

毎日新聞 2024/08/03

2024:5./ 317p  
978-4-7816-2302-3

¥2,640〔税込〕



### 日本はどこで道を誤ったのか(インターナショナル新書 143)

山口 二郎 著  
集英社インターナショナル

現在の日本社会が停滞している原因はどこにあるのか。常に政治改革の中心で活動してきた政治学者が、日本の「失われた50年」を分析し、令和の時代にふさわしい新しい政治のあり方を考え、提言する。枝野幸男との対談も収録。

毎日新聞 2024/08/03

2024:6./ 254p  
978-4-7976-8143-7

¥1,012〔税込〕





### はじめてのワイヤーどうぶつ

gogo3jino 著

産業編集センター

曲げて、ねじって、とめるだけ。360度たのしめるワイヤーアートの可愛いどうぶつの作り方を紹介。ツバメ、金魚、シーラカンス、文鳥、フクロウ、ウサギ、クマ、ハシビロコウなど10種のどうぶつを収録。

毎日新聞 2024/08/03

2024:6./ 59p  
978-4-86311-408-1

¥1,980〔税込〕



### 八重山共和国〜八日間の夢〜 改訂復刻版

桒田武宗 著

あけび書房

敗戦直後の1945年12月、沖縄・八重山にひとつの自治会が生れた。「八重山共和国」とよばれた八重山による八重山のための組織。その樹立から終焉までを資料と証言によりたどる。

毎日新聞 2024/08/03

2025:4./ 217p  
978-4-87154-258-6

¥1,980〔税込〕



### 非常識なやさしさをまとう〜人とともにデザインし、障がいを超える〜(叢書クロニック)

田中美咲 著

ライフサイエンス出版

コンプレックスや息苦しさを原動力に、逆境をアイデアに変えた! 医療従事者・課題当事者とともに障がいやルッキズム、セクシュアリティなど多様な人に対応した服を開発した SOLIT 創業者が、成功と失敗とを振り返る。

毎日新聞 2024/08/03

2024:7./ 238p  
978-4-89775-482-6

¥2,200〔税込〕



### ハリー・ポッターと賢者の石

J.K.ローリング 著

静山社

緑の眼に黒い髪、そして額に稲妻型の傷を持つ、魔法学校1年生のハリー・ポッターが、邪悪な力との運命の対決に打ち勝って行く、夢と冒険、友情の物語。スマーティーズ賞ほか受賞作。

毎日新聞 2024/08/03

1999:12./ 462p  
978-4-915512-37-7

¥2,420〔税込〕



### 乱歩を探して

後藤 隆基 著

学校法人 立学院企画室

美輪明宏、波乃久里子、和嶋慎治、佐野史郎...。乱歩ゆかりの人々や二次創作的な表現を实践してきた人々に乱歩にかんする話を聞く。立教大学が譲り受けた旧江戸川乱歩邸応接間でおこなわれた、不在の主をめぐるインタビュー集。

毎日新聞 2024/08/03

2024:3./ 363p  
978-4-947543-00-4

¥2,420〔税込〕





### 邪行のビビウ

東山彰良 著  
中央公論新社

独裁者が治めるベラシア連邦の自治州で、独立を求め反乱軍が決起した。この自治州では古くから呪術を使う邪行師が存在していた。赤い髪の邪行少女ビビウはおだやかな日々を過ごしていたが…。『中央公論』連載を加筆、修正。

毎日新聞 2024/08/03、産経新聞 2024/08/11

2024:7./ 308p  
978-4-12-005808-0

¥1,870〔税込〕



### わからないままの民藝

朝倉 圭一 著  
作品社

飛騨高山の工藝店「やわい屋」の店主が、民藝に対する私的な想いと、飛騨と民藝運動の関わり、古民家を移築再生して営んでいる「やわい屋」の始まりを綴る。

毎日新聞 2024/08/03、東京・中日新聞 2024/08/18

2024:7./ 264p  
978-4-86793-033-5

¥2,970〔税込〕



### ひらがなの世界～文字が生む美意識～(岩波新書 新赤版 2017)

石川 九楊 著  
岩波書店

新生のひらがな=女手は、漢字=万葉仮名からどのように生まれてきたのだろうか。文字としての女手=ひらがなへの道を探りつつ、実際に女手書記の作品を通して、その美意識を探り、「つながる文字」の本質に迫る。

毎日新聞 2024/08/10

2024:5./ 248p  
978-4-00-432017-3

¥1,056〔税込〕



### じんせいに諦めがつかない

森川 葵 著  
講談社

文章を書くこと、女優としての思い、愛猫のこと…。何事も器用にこなす多才な女優・森川葵が、日々の“諦めきれなかった”エピソードを綴る。『小説現代』連載に書き下ろしを加えて単行本化。

毎日新聞 2024/08/10

2024:6./ 174p  
978-4-06-535544-2

¥1,705〔税込〕



### 日本写真論～近代と格闘した三巨人～(講談社選書メチエ 810)

日高 優 著  
講談社

物が在り、それが写る。このあまりに単純な事実ひそむ神秘とは何か? <日本写真>の基礎を築いた3人の写真家、木村伊兵衛、土門拳、濱谷浩の足跡を辿りつつ、日本という場所でこそ花開いた写真の可能性と技の本質に迫る。

毎日新聞 2024/08/10

2024:6./ 340p  
978-4-06-536152-8

¥2,420〔税込〕





### 政権変容論(講談社+α 新書 879-1C)

橋下 徹 著  
講談社

国民が求めているのは「交代」ではなく「変容」だ! 橋下徹が、次の選挙で目指すべき「政権変容」への道をわかりやすく大胆に解説する。55年体制と自民党政治の本質、日本で政権交代が起きない理由も分析。

毎日新聞 2024/08/10

2024:7./ 231p  
978-4-06-536685-1

¥1,100 [税込]



### 消えた女(新潮文庫)

藤沢 周平 著  
新潮社

毎日新聞 2024/08/10

1983:9./ 363p  
978-4-10-124707-6

¥781 [税込]



### 安全に狂う方法~アクションから掴みとったこと~(シリーズケアをひらく)

赤坂 真理 著  
医学書院

人を殺すか自殺するしかないと思った私に、女性セラピストは「あなたには、安全に狂う必要があります」と言った。自分を殺しそうになってまで救いたい自分をレスキューするには。愛と思考とアクションをめぐる旅路を綴る。

毎日新聞 2024/08/10

2024:6./ 247p  
978-4-260-05693-9

¥2,200 [税込]



### 時空と共に~ポリビア先住民の民話~

フェリックス・ライメ・パイルマニ、THOA(アンデスの語り部)、ダニエル・コタリ・グティエレス、サン・ガブリエルラジオ放送、栗原 重太 著  
文芸社

南米大陸の中央に位置するポリビア。アンデス高原に住むアイマラ族とケチュワ族の先住民に語り継がれてきた民話を紹介する。「キツネが天上の国へ行った話」「ヤマネコの飛び込んだ井戸」などを収録。

毎日新聞 2024/08/10

2024:7./ 233p  
978-4-286-20219-8

¥1,320 [税込]



### 下町サイキック

吉本 ばなな 著  
河出書房新社

「友おじさん、どうして人は色とかお金とかに目がくらむの?」サイキック能力を持つ下町の中学生キヨカと、近所に住む友おじさんの、ささやかだけれどかけがえのない連帯を描く。note 掲載に書き下ろしを加える。

毎日新聞 2024/08/10

2024:7./ 259p  
978-4-309-03195-8

¥1,870 [税込]





### 写真が語る満州国(ちくま新書 1804)

太平洋戦争研究会 著  
筑摩書房

満州民族、漢民族、朝鮮民族、蒙古民族、日本民族が協力し争いのない平和な国づくりを目指した満州国。五族協和の王道楽土を夢見た 155 万人の在留邦人はどう暮らしたか。実験国家の建国から崩壊までを貴重写真でひもとく。

毎日新聞 2024/08/10

2024:7./ 284p  
978-4-480-07633-5

¥1,320 [税込]



### 読んでばっか

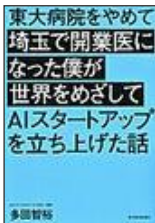
江國 香織 著  
筑摩書房

絵本、童話から小説、エッセイ、詩、そして海外ミステリーまで。お風呂でも、電車の中でも、待合わせでも。いつもそばに本があることの幸せと、本を読む喜びを綴る。

毎日新聞 2024/08/10

2024:6./ 253p  
978-4-480-81579-8

¥1,980 [税込]



### 東大病院をやめて埼玉で開業医になった僕が世界をめざして AI スタートアップを立ち上げた話

多田 智裕 著  
東洋経済新報社

東京大学医学部卒としてはめずらしく、若くして地方で開業し、そして AI メディカルサービスを立ち上げた著者。ローカルからグローバルをめざす異端児が、目標力、孤高力など、6つの行動哲学を伝える。

毎日新聞 2024/08/10

2024:6./ 221p  
978-4-492-22408-3

¥1,760 [税込]



### 俳優たちのテレビドラマ創世記

濱田研吾 著  
国書刊行会

テレビ創成期に伝説的なスター・俳優たちと数々の名作ドラマを手がけた元フジテレビプロデューサー・演出家、嶋田親一が語る、名優たちの素顔とドラマ制作の舞台裏。秘蔵の未公開写真・資料・エピソードを収録。

毎日新聞 2024/08/10、産経新聞 2024/08/18

2024:6./ 380p  
978-4-336-07650-2

¥2,860 [税込]



### 沈黙の中世史~感情史から見るヨーロッパ~(ちくま新書 1805)

後藤 里菜 著  
筑摩書房

修道院の静寂、服喪の嘆き、聖なる沈黙…。声と音が生活の大部分を占めていた騒々しい世界の中で、沈黙とはいかなるかたちでありえたのか。中世ヨーロッパに光を当て、祈る人、戦う人、働く人、沈黙を破る人たちの声をたどる。

毎日新聞 2024/08/10、読売新聞 2024/08/25

2024:7./ 313p,5p  
978-4-480-07635-9

¥1,100 [税込]





### 辺境のラッパーたち～立ち上がる「声の民族誌」～

島村一平 編

島村一平／山本薫／赤尾光春／中野幸男／佐藤剛裕／奈良雅史／谷憲一／安保寛尚／ダースレーダー／櫻間瑞希／石原三静 a.k.a ヌマバラ山ポール／野口泰弥／平井ナタリア恵美／軽刈田凡平／ハンガー (GAGLE)／金悠進／中原仁／村本茜 著  
青土社

戦火の絶えないガザ、格差にあえぐインドなど、ラップミュージックは世界に広がり、辺境に生きる者たちは声なき声をリリックに託す。現代社会の歪みを鮮やかに映し出す、世界各地のラッパーたちの声を幅広い執筆陣が紹介する。

毎日新聞 2024/08/10、読売新聞 2024/08/25

2024:6./ 538p,3p  
978-4-7917-7654-2

¥3,520〔税込〕



### 平畑静塔の百句～生命と俳句の同化～

五島高資 著

ふらんす堂

迎火のほとりの間の水車 社会的死と肉体的死という二重の危機を乗り越え、二項対立的な固定観念を超克した境地へと参入した平畑静塔の作品を 100 句厳選し、解説文とともに紹介する。初句・季語索引付き。

毎日新聞 2024/08/12

2023:9./ 203p  
978-4-7814-1588-8

¥1,650〔税込〕



### 相馬遷子の百句～一人の医師として～

仲 寒蟬 著

ふらんす堂

信州の自然を中心とした自然詠から社会性俳句、境涯俳句、医師俳句、闘病俳句まで。「馬酔木」の高原派・相馬遷子の 100 句を厳選し、解説文と共に紹介する。初句・季語索引付き。

毎日新聞 2024/08/12

2024:6./ 203p  
978-4-7814-1661-8

¥1,650〔税込〕



### 三本のやまぼふし～花山多佳子歌集～(塔 21 世紀叢書 第 449 篇)

花山 多佳子 著

砂子屋書房

小さきわれは触らんとせり放し飼ひの孔雀が広げる緑の羽根に 根津神社の穴稻荷には上品な顔のきつねがひつそりと居て 2015 年から 2020 年までの 5 年間の作品 494 首を収録した第 12 歌集。

毎日新聞 2024/08/12

2024:7./ 298p  
978-4-7904-1892-4

¥3,300〔税込〕



### 吉本隆明詩集(岩波文庫 緑 233-1)

吉本 隆明、蜂飼 耳 著

岩波書店

文学と思想との間に立ち、独創的な仕事を成し遂げた思想家にして詩人の吉本隆明。詩史に残る「固有時との対話」「転位のための十篇」の他、1940 年代～90 年代の作品から精選。評論 1 篇も収録する。

毎日新聞 2024/08/17

2024:7./ 350p  
978-4-00-312331-7

¥1,221〔税込〕





**AIは短歌をどう詠むか(講談社現代新書 2748)**

浦川 通 著  
講談社

AIが学んでいく姿から、短歌の面白さも見えてくる! 短歌を生成するAIがどのように短歌を学び、またそれをつくっていくのかを解説。短歌AIの開発を通して、人間だけにできること、AIにしかできないことを考える。

2024:6./ 218p  
978-4-06-536012-5

¥1,034 [税込]



毎日新聞 2024/08/17



**慶應高校野球部〜「まかせる力」が人を育てる〜(新潮新書 1049)**

加藤 弘士 著  
新潮社

107年ぶりに全国制覇を成し遂げた慶應高校野球部の「常識を覆す」チーム作りとは? インタビューをもとに、「エンジョイ・ベースボール」の系譜と歴代チームの蹉跌、森林監督の革新的指導法などを深掘りする。

2024:7./ 237p  
978-4-10-611049-8

¥902 [税込]



毎日新聞 2024/08/17



**あなたが子どもだったころ〜対談集〜 完全版(中公文庫 か 54-3)**

河合隼雄 著  
中央公論新社

<心の問題>を見つめ続けてきた著者が、鶴見俊輔、田辺聖子、谷川俊太郎ら、各界を代表する16人とユニークな子ども時代を語り合う。「あなたが子どもだったころ」と「子ども力がいっぱい」の合本。

2024:7./ 436p  
978-4-12-207536-8

¥1,210 [税込]



毎日新聞 2024/08/17



**アンクル・トム的小屋<上>(光文社古典新訳文庫 KAヒ 4-1)**

ハリエット・ビーチャー・ストウ 著  
光文社

正直で有能、分別と信仰心を持つ奴隷頭のトムは、ケンタッキーの農園で何不自由なく暮らしていたが、主人の借金返済のために、奴隷商人に売却されることに…。黒人奴隷解放の実現に大きく寄与した歴史的名著。

2023:2./ 518p  
978-4-334-75475-4

¥1,364 [税込]



毎日新聞 2024/08/17



**アンクル・トム的小屋<下>(光文社古典新訳文庫 KAヒ 4-2)**

ハリエット・ビーチャー・ストウ 著  
光文社

ルイジアナ州の気のいい大農園主に買われ、その家の天使のような娘エヴァとも友情を結んだトム。だが運命の非情な手はトムから大切なものを次々と奪っていき…。黒人奴隷解放の実現に大きく寄与した歴史的名著。

2023:2./ 591p  
978-4-334-75476-1

¥1,606 [税込]



毎日新聞 2024/08/17



### 論語と算盤～详解全訳～

渋沢 栄一／守屋 淳 著  
筑摩書房

渋沢栄一の思想の完成形ともいえるべき「論語と算盤」は、先の見えない時代に生きる私たちに何を語りかけるか。生き生きとして読みやすい現代語完全訳に、本の背景をなす時代状況や、中国古典についての詳細な解説と注を付す。

毎日新聞 2024/08/17

2024:6./ 452p  
978-4-480-84331-9

¥2,200〔税込〕



### デザインのひきだし～プロなら知っておきたいデザイン・印刷・紙・加工の実践情報誌～<52> 特集|印刷・紙加工の大百科

グラフィック社編集部 編  
グラフィック社

型抜き、レーザーカット、エンボス、デボス、空押し、合紙、折りなど、紙に加える加工を徹底紹介。エンボス加工等を施した表紙。紙加工実物サンプルが入った BOX 付き。

毎日新聞 2024/08/17

2024:6./ 159p  
978-4-7661-3916-7

¥2,750〔税込〕



### ヤンバルの戦い<1>

しんざとけんしん 著  
琉球新報社  
毎日新聞 2024/08/17

2024:6./ 376p  
978-4-86764-022-7

¥3,850〔税込〕



### 月曜か火曜

ヴァージニア・ウルフ 著  
エトセトラブックス

永遠のフェミニスト作家、ヴァージニア・ウルフが自分で編んだ唯一の短編小説集。表題作をはじめ、「幽霊たちの家」「ある協会」など全8編を収録する。詳細な注・訳者解説付き。

毎日新聞 2024/08/17

2024:7./ 166p  
978-4-909910-24-0

¥2,200〔税込〕



### 検証政治とカネ(岩波新書 新赤版 2021)

上脇 博之 著  
岩波書店

寄付や企業献金の仕組みって？ パーティー券の何が問題？ 派閥が解体された今も決着を迎えていない政治資金パーティー裏金問題。長年、この問題を告発し続けてきた著者が、問題の本質を抉り出し、ウソを見抜く技を提供する。

毎日新聞 2024/08/24

2024:7./ 202p  
978-4-00-432021-0

¥990〔税込〕



### 吾輩は猫である 改版(新潮文庫 な-1-1)

夏目 漱石 著  
新潮社

毎日新聞 2024/08/24

2016:3./ 610p  
978-4-10-101001-4

¥693〔税込〕





### 義父母の介護(新潮新書 1052)

村井 理子 著  
新潮社

義母が認知症となり、義父も脳梗塞で倒れて、仕事と家事を抱えての介護がスタート。やがて体力と気力は限界に…。介護は妻の義務なのか？ 夫の出番は？ 最初の一步から悪徳業者との闘いまで、超リアルな介護奮闘記。

毎日新聞 2024/08/24

2024:7./ 254p  
978-4-10-611052-8

¥924 [税込]



### にじ

武田 康男／小杉みのり 著  
岩崎書店

にじは雨上がりに音もなく空に現れる。にじを見たことがある？ なぜにじは見えるのかな？ そのひみつはね…。たくさんの美しいにじの写真とともに、にじができるメカニズムをやさしく説明する。解説ページも掲載。

毎日新聞 2024/08/24

2024:7./ 33p  
978-4-265-83125-8

¥1,430 [税込]



### 宿帳が語る昭和100年～温泉で素顔を見せたあの人～

山崎 まゆみ 著  
潮出版社

西城秀樹、志村けん、松田優作、樹木希林…。温泉宿の主人や女将たちだけが垣間見た、今も日本人の心に生き続ける昭和を彩ったスターの素顔を伝える。『潮』連載を単行本化。

毎日新聞 2024/08/24

2024:6./ 285p  
978-4-267-02429-0

¥1,980 [税込]



### ガチョウの本

イーユン・リー 著  
河出書房新社

13歳のアニエスは作家として華々しくデビュー。本当の作者は親友のファビエンヌ。小説を書くという2人の「遊び」は周囲を巻き込み、やがてそのために2人の距離は物理的にも精神的にも離れていき…。

毎日新聞 2024/08/24

2024:7./ 291p  
978-4-309-20899-2

¥2,970 [税込]



### 聖書の同盟～アメリカはなぜユダヤ国家を支援するのか～(KAWADE 夢新書 S451)

船津 靖 著  
河出書房新社

大統領選にも影響するイスラエルとアメリカの関係とは。米国民にとってユダヤ人は、いかなる存在なのか。ユダヤ教とキリスト教の関係からひもとき、米国の一方的な“偏愛”の構造に迫る。

毎日新聞 2024/08/24

2024:6./ 222p  
978-4-309-50451-3

¥979 [税込]





### まったく新しいアカデミック・ライティングの教科書

阿部幸大 著  
光文社

期末レポートからトップジャーナルまで、アカデミックな文章を書くために必要なテクニックや考え方、それらを身につけるための具体的なトレーニング方法を紹介する。

毎日新聞 2024/08/24

2024:7./ 173p  
978-4-334-10380-4

¥1,980〔税込〕



### キツネくんのひみつ～ゆうきをだしてはなそう～(子どものトラウマ治療のための絵本シリーズ)

カロリーヌ・リンク 著  
誠信書房

隣の家のオオカミおじさんが、キツネくん性に加害をするように。口止めをするおじさんによって、キツネくんはひみつを抱え、被害を打ち明けることができず…。子どもの性被害の実態と対応の重要点を、動物に託して伝える。

毎日新聞 2024/08/24

2023:3./ 25p  
978-4-414-41375-5

¥1,980〔税込〕



### ことばが変われば社会が変わる(ちくまプリマー新書 463)

中村 桃子 著  
筑摩書房

「セクハラ」ということばは社会の何を変えた? 流行語「女子」がもたらしたものは? 新しいことばの普及や流行語が起す社会変化に注目し、ことばが社会を変化させるメカニズムを明らかにする。

毎日新聞 2024/08/24

2024:7./ 222p  
978-4-480-68487-5

¥968〔税込〕



### シュペーア ヒトラーの建築家

マーティン・キッチン 著  
白水社

「ヒトラーよりも危険」な偽善者の正体とは? 独裁者の寵臣として帝国首都建設総監及び軍需相を務め、ユダヤ人迫害政策に深く関与し、強制・奴隷労働の組織化も主導したシュペーアの「善良なるナチ」像の欺瞞を徹底的に暴く。

毎日新聞 2024/08/24

2024:5./ 650p  
978-4-560-09285-9

¥8,580〔税込〕



### 第三次世界大戦をいかに止めるか～台湾有事のリスクと日本が果たすべき役割～

ビル・エモット 著  
扶桑社

ウクライナ、パレスチナ...いま危険が迫る台湾有事。軍事衝突は世界戦争=第三次世界大戦へ直結する! 知日派の英国人ジャーナリストが、当事者となるアメリカ、中国、台湾、重要な隣国・日本が取るべき戦略を徹底分析する。

毎日新聞 2024/08/24

2024:7./ 222p  
978-4-594-09646-5

¥2,200〔税込〕





### 北朝鮮に出動します～開城工業団地で働いた一年間～

キム・ミンジュ 著

新泉社

月曜の朝、ソウル市内でバスに乗り、軍事境界線を越えて北朝鮮に出勤。平日は北の職員たちと働き、週末は韓国に戻る。20代韓国女性性が、南北経済協力事業で北朝鮮に造成された工業団地での1年間と北の人々の素顔を綴る。

毎日新聞 2024/08/24

2024:8./ 195p  
978-4-7877-2400-7

¥2,200〔税込〕



9 7 8 4 7 8 7 7 2 4 0 0 7



### 未完の平和記念都市～広島平和記念都市建設法の軌跡と展望～

森上翔太 著

論創社

広島を平和都市として性格づけた広島平和記念都市建設法。同法の形成過程と設計者たちの思いを丹念に振り返りながら、法律学の側面から条文に定められた意味と実際の運用状況を解説し、広島が今日果たすべき役割を見定める。

毎日新聞 2024/08/24

2024:8./ 10p,504p  
978-4-8460-2406-2

¥6,600〔税込〕



9 7 8 4 8 4 6 0 2 4 0 6 2



### 九州異世界遺産

本田 純一 著

海鳥社

緑に飲み込まれてゆく無人島の炭鉱跡、海岸に横たわる大量の墓石、海峡の町に漂う色街の名残、一瞬にして消え去った悲劇の巨砲…。九州・山口のディープなスポットを写真で紹介する。

毎日新聞 2024/08/24

2024:6./ 175p  
978-4-86656-163-9

¥2,200〔税込〕



9 7 8 4 8 6 6 5 6 1 6 3 9